

福島市アクション&レガシープラン

Olympic and Paralympic Games

TOKYO
2020

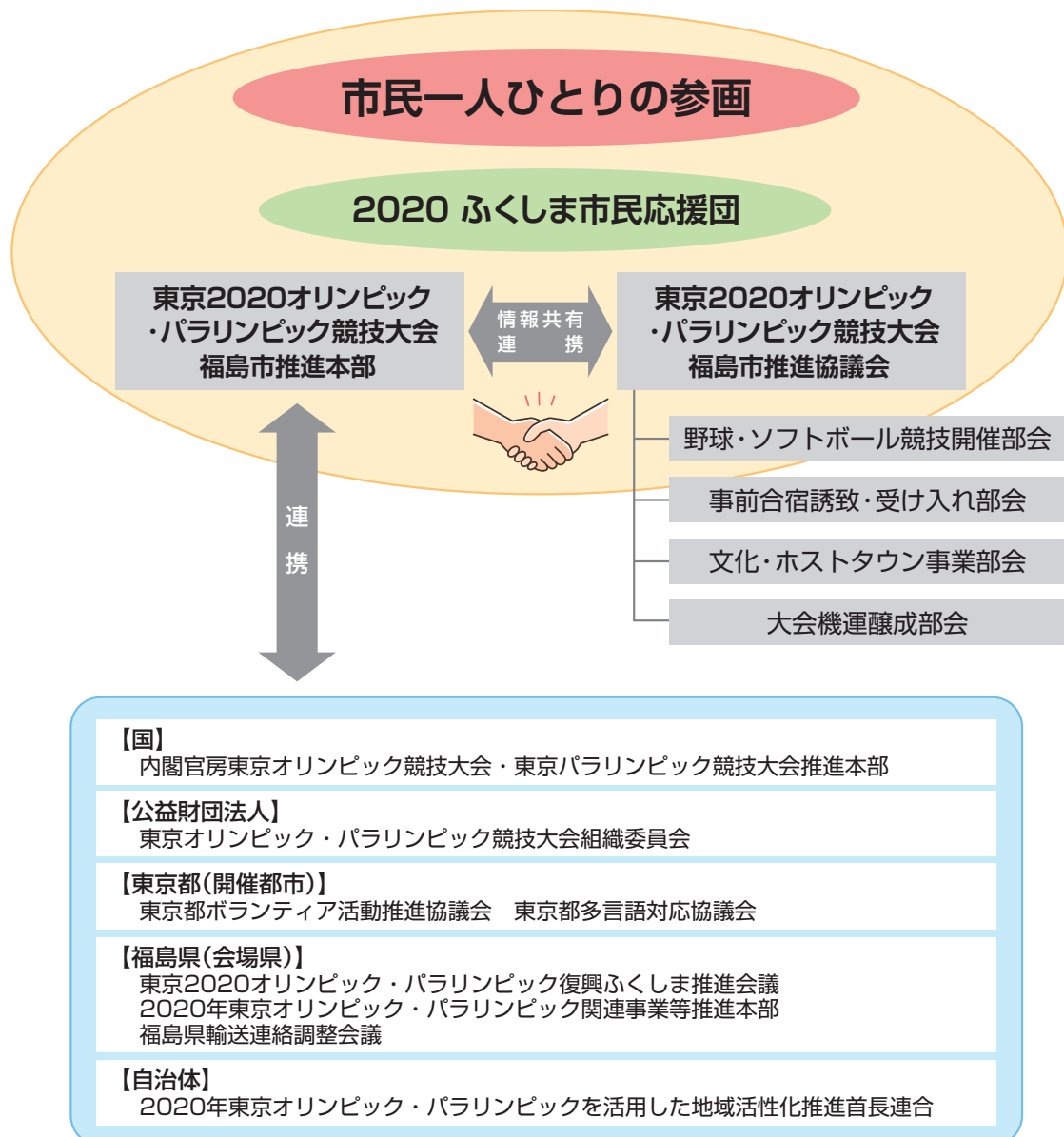
福島市アクション&レガシープラン

福島市では、平成30年3月に「感動を夢や希望に変えて、新しい元気な福島市を未来へつなげよう！」を基本コンセプトとして、5つの取り組みの柱ごとに目指すレガシーのイメージを設定し、その実現に必要なアクションを、方針、基本目標、アクションの例として整理した「福島市アクション&レガシープラン」を策定しました。

その後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会において取り組みの柱ごとに専門部会を立ち上げ、目指すレガシーに向けた具体的なアクション内容について協議・検討を重ねるとともに、各種の取り組みによりアクションの具現化を図ってきました。

開催都市として、東京2020大会関連事業に一人でも多くの市民に参画していただき、大会を契機とした成果を未来へつなげられるよう、大会組織委員会、福島県をはじめ、近隣市町村等、関係機関・団体等と連携・協力して進めてきました。

◆オール福島推進体制図



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会の活動

福島市は、本市での野球・ソフトボール競技開催やホストタウン交流などの大会関連事業を官民が連携して「オール福島」で推進していくため、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会」を設立し、取り組みを進めてきました。

◆平成29年度設立総会

協議会の設立と、協議会設置要綱や役員選出、今年度の事業計画などが承認されました。設立総会終了後、車いすバスケットボール選手の上村知佳さんより、ご自身のパラリンピック出場の経験談などを踏まえての講演をいただきました。

と き／平成29年5月29日（月）

協議内容／・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会設置要綱

- ・役員選出について
- ・平成29年度事業計画

記念講演／テーマ：「夢を信じて、あきらめない心」

講 師：車いすバスケットボール選手 上村知佳さん



◆平成30年度総会

東京2020大会に向けて本市の取り組み方針と大会後に目指す姿をまとめた「福島市アクション&レガシープラン2018」を説明し、プランに掲げる福島市が取り組む5本の柱の実現のためには、官民一体となりアクションの実践を進める必要があることから、4つの専門部会の設置が決定されました。

と き／平成30年4月19日（木）

協議内容／・福島市アクション&レガシープラン2018について

- ・平成29年度事業報告
- ・平成30年度事業計画
- ・専門部会の設置について



◆平成31年度総会

協議内容に加えて、平成31年1月に創設した「2020ふくしま市民応援団」としての活動を団体会員である「ボーイスカウト福島第一団」より発表しました。

と き／平成31年4月25日（木）

協議内容／・福島市アクション&レガシープラン2019について
・平成30年度事業報告
・平成31年度事業計画



事例発表／発表者：ボーイスカウト福島第一団

大会機運醸成のための2020ふくしま市民応援団の活動として、地域の清掃活動やホストタウン交流相手国の学習などを発表。



◆令和2年度総会

大会延期発表後の総会ということもあり、組織委員会の大会運営局会場運営担当部長の坂口裕之さん（写真左）、同じく大会運営担当副部長の藤田祥広さん（写真右）をお招きし、今後の大会の動向、進め方についてご説明いただきました。

また、福島市長が福島市のこれまでの取り組みと今後の取り組みについて説明し、延期となった大会に向けて改めて「オール福島」で取り組んでいくことを協議しました。

と き／令和2年7月20日（月）

協議内容／・令和元年度事業報告
・令和2年度事業計画



◆令和3年度総会

総会に先立ち、福島市オリパラ推進室長より「福島市における令和2年度の取り組みと大会本番に向けた取り組み」について説明しました。

と き／令和3年4月26日（水）

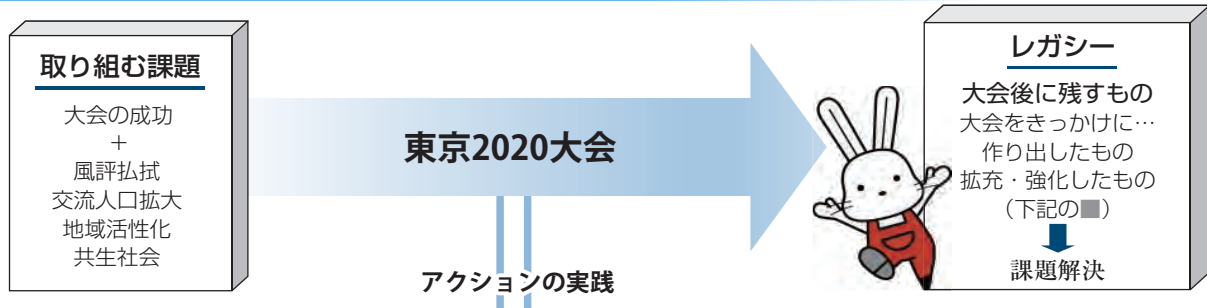
協議内容／・令和2年度事業報告
・令和3年度事業計画



福島市アクション&レガシープラン 体系図

基本コンセプト

感動を夢や希望に変えて、**新しい元気な福島市**を未来へつなげよう！



野球・ソフトボール競技の開催

目指す姿：また来たくなる観光都市

方針① 野球・ソフトボール競技開催を成功させる

【基本目標】

- 組織委員会や県など関係する組織との連携体制の構築
- 運営に関して市が担う業務の推進体制の構築
- ボランティアの育成・活用体制の構築
- 福島らしさの提案

方針② 訪れるすべての人に福島市の魅力を感じてもらう

【基本目標】

- 地域資源の発掘・磨き上げ・創出・連携の促進
- 情報発信力の拡充
- 来訪者に配慮した環境整備の促進
- おもてなし体制の拡充

事前合宿の誘致・受け入れ

目指す姿：選ばれる合宿都市

方針① 選ばれる合宿環境を整備する

【基本目標】

- 競技団体との交流基盤の拡充
- 合宿・大会受け入れ体制の拡充
- 使いやすいスポーツ施設の整備
- スポーツを支えるまちづくりの推進
- スポーツを応援するファンの拡大

方針② 障がい者スポーツの環境を整備する

【基本目標】

- 障がい者スポーツ競技団体との交流基盤の整備
- 合宿・大会受け入れ体制の拡充
- 障がい者スポーツを支えるまちづくりの推進
- 障がい者スポーツを応援するファンの拡大

文化プログラムへの参画促進

目指す姿：地域が輝く文化都市

方針 地域文化への誇りと愛着を醸成し、地域を元気にする

【基本目標】

- 地域資源の発掘・磨き上げ・創出・連携の促進
- 地域への誇りと郷土愛の醸成促進
- 活発な文化的活動を促す環境の整備
- 地域を担う人材の育成

ホストタウン事業の推進

目指す姿：未来につながる国際都市

方針 スイス・ベトナム関係者との多様な交流を実践する

【基本目標】

- スイス・ベトナム関係者との交流基盤の整備
- スイス・ベトナムとの民間における相互理解事業の推進
- 市民参加の国際交流事業の拡充

大会機運の醸成

目指す姿：オール福島で参画都市

方針 大会関連事業への参画により、市民エネルギーを拡充する

【基本目標】

- 市民参画機運の拡充
- オリンピック・パラリンピックの理解促進
- 市民エネルギー（県都プライドオール福島）の拡充
- 未来を担う子どもの夢や希望を醸成

野球・ソフトボール競技の開催

目指す姿：また来たくなる観光都市

野球・ソフトボール開催のために、福島市に訪れた多くの観客・関係者が安全かつ快適に大会を楽しみ、感動の共有と福島市の魅力を感じるにより、東京2020大会後に福島市を再訪してもらうことを目指してアクションを進めてきました。

【来訪者に配慮した環境整備】

◆ふくしまの顔づくり事業

東京2020大会で訪れる国内外の来訪者に対し、「震災からの復興」を強くアピールするとともに、「元気な福島は今」を伝えるほか、「感動」と「驚き」を感じてもらえるような「おもてなし」や「福島らしさ」を演出するため、各種整備を行いました。

と き／平成30年度～令和2年度

場 所／福島駅周辺ほか

内 容／①福島駅前情報版設置事業

観光・イベント情報の発信や、スマートフォンと連動した多言語化と多種多様な情報発信による中心市街地の活性化と回遊性の向上を図るため、福島駅西口に200インチの大型マルチビジョン、福島駅東口にデジタルサイネージを設置しました。



ふくしまエールビジョン（西口大型マルチビジョン）



東口デジタルサイネージ

②シティ・ドレッシング事業

本市の魅力を視覚的に伝えるため、写真等によるダイナミックな装飾を行い、利用者に強く印象付けることで観光機運の醸成を図りました。

場 所／福島駅東口高速バス乗り場フェンス、福島駅コンコース・福島駅西口ガラス壁面



高速バス乗り場フェンス



福島駅コンコース



福島駅西口ガラス壁面

③ふくしま花のまちづくり関連事業

本市の玄関口である福島駅周辺にプランターや花壇を整備し、花によるおもてなしを行いました。

場 所／福島駅西口駅前広場、コラッセ広場、福島駅前通り



④福島駅西口「大庇（ひさし）美装化」

福島駅西口の大庇を耐震対策に併せ美装化のリニューアル整備を行いました。



⑤福島駅フリー Wi-Fi 整備

大会開催時に訪れる多くの外国人観光客を想定し、福島駅東口・西口のフリー Wi-Fi 環境の整備を行いました。

⑥案内サイン整備事業

国内外の来訪者に対して分かりやすい案内・誘導を行えるよう、多言語化やピクトサインの活用、デザイン・表示内容の統一などを施した案内サイン整備を行いました。



⑦福島駅周辺バリアフリー整備

本市の玄関口となる福島駅周辺の点字案内板設置、点字ブロック・点字表示シート敷設、歩道の段差解消などのバリアフリー整備を行いました。

⑧ももりんウォーター（ももりん水飲み器）設置

福島地区管工事協同組合と水道局が官民一体となり、福島駅西口駅前広場に福島市観光PRキャラクター「ももりん」のかわいい水飲み器を整備しました。



◆施設のトイレ洋式化

訪日外国人旅行者の受け入れ環境整備と高齢者や身体に障がいのある方の利便性確保のため、施設のトイレ洋式化を進めました。

と き／平成30年度～令和2年度
内 容／トイレ洋式化率83.4%達成

◆外国人通報等に対する対応強化

今後増加が見込まれる訪日外国人旅行者や本市に居住する外国人等の外国人通報に対応するため、各種システムの運用や取り組みをはじめました。

と き／平成31年4月
内 容／①多言語対応救急シートの活用

外国人が病気や怪我をした際に、指差し式で状態を把握することができるシートを作成しました。

②119番通報多言語同時通訳の運用

日本語でのコミュニケーションが困難な方からの119番通報と災害現場の対応を円滑にできるように、多言語に対応した同時通訳システムの運用を開始しました。

③ N E T 119緊急通報システムの運用

聴覚や発話等に障がいのある方などから、携帯電話やスマートフォンのインターネット接続機能を利用して119番通報することができる、新しい緊急通報システムの運用を開始しました。

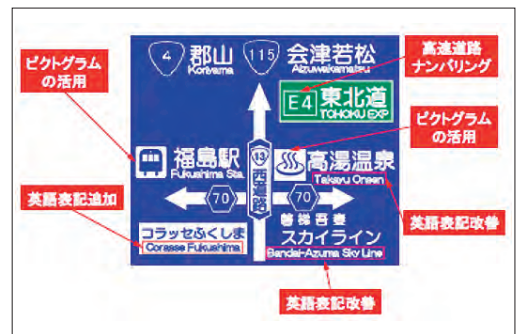


多言語対応救急シート

◆道路案内標識の改善

増加が想定される訪日外国人旅行者をはじめとする様々な来訪者にとって分かりやすいものとなるよう、国・県・市が連携し、道路標識の改善を行いました。

- と き／令和元年度
- 場 所／県営あづま球場周辺の市道25カ所
- 内 容／英語表記の追加・改善、ピクトグラムの活用、高速道路ナンバリングなどの改善。



【ボランティアの育成・おもてなし機運の醸成】

◆外国人おもてなし研修

訪日外国人旅行者と直接接する皆さんや訪日外国人旅行者の受入れ整備をしたいと考えている飲食店、小売店、タクシー・バス、宿泊施設等の皆さんを対象に、接客や受け入れ整備の方法等についての研修やコンサルティングを行いました。

- と き／平成29年度～令和2年度
- 内 容／①平成29年度「外国人おもてなし研修」

参加者：58名
「飲食店・販売店」、「宿泊施設」、「輸送関係」など職種別に実践的な接客方法等の研修会を実施。

- ②平成30年度「外国人おもてなし研修」

参加者：60名
内容は①と同様。

- ③令和元年度「スタートアップ研修・個別コンサルティング」

研修会参加者：77名 個別コンサルティング：17事業所
インバウンドの受け入れ整備に関する研修会と、個別に店内案内・メニュー等の多言語化アドバイスや課題点のコンサルティングを実施。

④令和2年度「今だからやる！インバウンド対応力向上研修・個別コンサルティング」

研修会参加者：37名 個別コンサルティング：20事業所

インバウンド対応に関する研修会と、個別に外国人観光客の誘客促進や受け入れ整備等のコンサルティングを実施。



外国人おもてなし研修会



個別コンサルティング

◆都市ボランティア募集への協力

福島県が募集する東京2020大会における都市ボランティアについて、市内での募集説明会の運営補助やPR活動協力を行いました。

と き／平成30年12月～平成31年2月



◆2020ふくしま市民応援団の創設

大会にできるだけ多くの方に関わっていただけるよう、東京2020大会を「支えたい」「盛り上げたい」「応援したい」という気持ちを持つ方に登録していただき、オール福島で東京2020大会を盛り上げていく制度である「2020ふくしま市民応援団」を平成31年1月18日に創設しました。

「2020ふくしま市民応援団」募集説明会

と き／平成31年1月27日（日）

内 容／創設にあたり説明会を開催しました。

※応援団の詳しい活動はP. 106をご覧ください



説明会

◆フィールドキャスト（大会ボランティア）オリエンテーション

フィールドキャスト（大会ボランティア）のオリエンテーションの運営補助と面談を実施しました。

と き／令和元年5月12日（日）・13日（月）、11月17日（日）・18日（月）
場 所／アオウゼ

◆障がいのある方へのおもてなし研修会

市民のおもてなし意識の向上を図るため、障がいのある方へのおもてなし方法を学ぶ研修会を開催しました。

と き／令和2年2月9日（日）
場 所／保健福祉センター
参 加 者／80名
講 師／NPO 法人ふくしまバリアフリーツアーズセンター長 さとう ゆかり 佐藤由香利さん
内 容／・バリアフリー対応のおもてなし（講義）
・知的障がい・発達障がい疑似体験
・車いす利用者介助体験



講師による講義



車いす利用者介助体験

◆外国人観光客おもてなし研修会 **中止**

大会開催時に多く訪れることが想定される訪日外国人に対し、市全体でのおもてなしを図るため、外国人観光客おもてなし研修会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により延期。さらにその後、大会組織委員会より東京2020大会への海外からの一般客受け入れを見送る方針が発表されたことから中止となりました。

と き／令和2年2月29日（土）
場 所／保健福祉センター
申 込 者／138名
講 師／(株)ライフブリッジ代表取締役 さくらいりょうたろう 櫻井亮太郎さん

【大会に向けたシミュレーション】

◆日米対抗ソフトボール大会ボランティア説明会

日米対抗ソフトボール2018の来場者に対するおもてなしのため、ボランティア説明会を開催しました。

と き／平成30年6月16日（土）
場 所／アオウゼ

◆日米対抗ソフトボール2018

県営あづま球場で日米対抗ソフトボール2018が開催され、来福者に対するおもてなしや、駅や会場周辺にボランティアを配置するなど、東京2020大会本番に向けたシミュレーションを行いました。

と き／平成30年6月23日（土）
場 所／県営あづま球場

来 場 者／7,917名

内 容／①佐原小学校児童と地元住民による選手お出迎え

②試合前セレモニー

両チーム監督に対し、福島県知事と福島市長から特産品の贈呈を行ったほか、吉井田小学校マーチングバンドによる演奏披露を行いました。

③ボランティアによる運営補助

48名ものボランティアにご協力をいただき、シャトルバス乗り場や会場周辺、会場内での案内などの業務を行いました。

④PRブース運営

本市のPRブースを設置し、東京2020大会野球・ソフトボール競技の本市開催や本市特産のサクラamboの販売などを行いました。



選手お出迎え



来場者へのおもてなし



吉井田小学校マーチングバンド部による演奏披露



会場案内をするボランティアスタッフ

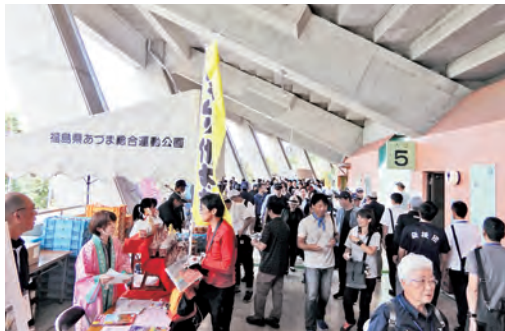
◆日本女子ソフトボールリーグ1部公式戦（テストイベント）

東京2020大会本番に向けたテストイベントとして、日本女子ソフトボールリーグの公式戦が行われました。

と き／令和元年10月5日（土）・6日（日）

場 所／県営あづま球場

内 容／本市のPRブースを設置し、東京2020大会野球・ソフトボール競技の本市開催や観光PRを行ったほか、本市特産のリンゴ・ナシの販売などを行いました。



【大会本番時の取り組み】

◆シティドレッシング

福島県と連携して会場自治体のみ活用可能なデザインによる装飾物で福島駅周辺を装飾し、間近に迫った東京2020大会と本市での競技開催について広く発信するとともに、大会へ向けた市民の機運醸成を図るためシティドレッシングを実施しました。また、大会の1年延期に伴い翌年も同様に実施しました。

と き／【延期前】令和2年3月16日（月）～9月16日（水）

【延期後】令和3年4月14日（水）～9月14日（火）

場 所／福島駅東口駅前広場、福島駅前通り、吾妻通り、パセオ通り、並木通り、文化通り

※福島駅西口周辺は福島県が担当

内 容／街頭フラッグ 169枚 横断幕 1枚



福島駅東口駅前広場



福島駅前通り



吾妻通り



パセオ通り



並木通り



文化通り

◆花によるおもてなし事業

地域の皆さまのご協力により観客・選手輸送ルート上を花で彩る「花によるおもてなし事業」を実施しました。

と き／令和3年6月～7月

協力団体／土船地区、原町内会、仁井田町会、土湯温泉町内会連合会、八木田町内会

※無観客開催となり、実際に観客の目に触れる機会はなくなりましたが、おもてなしの気持ちが伝わればと予定通りプランターを設置したり、花の手入れをするなど、各地区の皆さんにたくさんのご協力をいただきました。



◆東京2020大会福島市開催の安全・安心に向けた取り組み

東京2020大会の本市開催に伴い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、クラスター発生を未然に防ぐため、市独自の対応として、大会関係者等を受け入れる方を対象に、新型コロナウイルス検査相談窓口を開設し、状況に応じてPCR検査に繋げる体制を整えたほか、実際に大会関係者を受け入れた宿泊施設や輸送にあたった運転手等の受け入れ事業所を対象にPCR検査を実施しました。

- と き／令和3年7月14日（水）～8月15日（日）
 内 容／①東京2020オリンピック安全・安心検査相談
 相談件数：11件
 ②受け入れ事業所へのPCR検査（2回実施）
 PCR検査希望者：475名（24事業所）※全員陰性

◆福島市おもてなしフェンス

東京2020大会の本市開催に合わせ、東日本大震災の復興支援への感謝、福島の素晴らしさの発信のため、組織委員会が設置するフェンスを、福島ゆかりのアーティストや市民の子どもから大人までの作品約350点のアートデザインで彩りました。

①お披露目式

- と き／令和3年7月18日（日）
 場 所／コラッセ広場
 出席者／・福島市長

- ・プロジェクト代表アーティスト あきばたまみさん（絵本作家・画家）
- ・プロジェクトメンバー アサノコウタさん（建築家・デザイナー）
- ・NPO法人子ども未来クラブ代表 おおば ひでき 大場秀樹さん
- ・しんまち学童クラブの子どもたち

- 内 容／・「生命の樹」（原画）贈呈
 ・テープカット
 ・フェンスデザインの解説

※「生命の樹」（原画）はこむこむ館に展示。

②フェンスの展示

- と き／令和3年7月19日（月）～7月29日（木）
 場 所／福島駅西口バスプール北側、コラッセ広場

【参加アーティスト】（敬称略）

あきばたまみ・アサノコウタ・ユアサミズキ・陽華・さとうてるえ・佐藤玲奈・かとうゆーこ・小林親寛・安藤 光・海翔 嶋・高橋美樹・今野真理・タグチサヤカ・AkiKanno・Uta・KeicoWatanabe・青木環江・メジャース、淑永・暁～Akatsuki～・櫛田拓哉 and 「ふくしまグリーンキャンパス」のこどもたち・HIRO KOJO

【Photo】柳沼涼子

【特別協力】さだまさし・大沢たかお・佐藤みゆき

③復興支援感謝動画「Thank you from Fukushima」

福島市おもてなしフェンスプロジェクトに参加したアーティストや市民の作品に対する思いをインタビューした動画を YouTube に掲載し、国内外に発信しました。



お披露目式



◆野球・ソフトボール競技開催おもてなし看板の設置

復興支援への感謝や本市での野球・ソフトボール競技開催を盛り上げるため、侍ジャパンと女子ソフトボール日本代表「ソフトジャパン」の選手を用いた看板を作成し、街なか交流館に設置しました。

と き／令和3年7月19日（月）～8月6日（金）
場 所／街なか交流館



◆復興関連動画の放映

本市での競技開催期間中、国内外から本市を訪れる大会関係者やメディアなどに対し、東日本大震災から10年が経過した本県・本市の現状や復興支援への感謝、そして本市の魅力を伝えるため、県営あづま球場への玄関口となる福島駅西口駅前広場のふくしまエールビジョンで動画放映を行いました。

と き／令和3年7月21日（水）～28日（水）
場 所／ふくしまエールビジョン（福島駅西口大型マルチビジョン）
内 容／復興関連動画（復興支援への感謝、震災体験談、復興の歩み）、観光PR動画の放映

◆くだものの里・ふくしまPR事業 モモの鉢植えによるおもてなし

大会に合わせ旬を迎える福島市特産のモモによるおもてなしを図るため、野球・ソフトボール競技の開催会場である県営あづま球場やコラッセ広場にモモの鉢植えを設置し、東京2020大会で来福した選手・スタッフなどの大会関係者に対して「くだものの里」ふくしまをPRしました。

と き／令和3年7月21日（水）～28日（水）
場 所／県営あづま球場、コラッセ広場



県営あづま球場



コラッセ広場

◆コミュニティライブサイト **中止**

競技観戦のため国内外から訪れる多くの来福者や市民が競技中継や競技体験等を通じて、大会の感動や興奮、本市の魅力を共有できる場を提供するため実施をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

と き／令和3年7月21日（水）～8月8日（日）の19日間
（街なか広場、福島市役所1階ロビーは7月21日～29日の9日間）
場 所／街なか広場、街なか交流館、福島市役所1階ロビー
内 容／競技応援、ステージイベント、競技体験、ワークショップ、飲食ブース



パースイメージ①



パースイメージ②

◆パブリックビューイング **中止**

大画面での競技応援を通して、大会の臨場感や会場との一体感を味わえるようパブリックビューイングの実施を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

- と き／オリンピック、パラリンピックの全期間
 (街なか交流館はパラリンピック期間のみ)
 場 所／福島駅西口駅前広場、街なか交流館
 内 容／競技応援

◆おもてなしイベント **中止**

「コミュニティライブサイト」と一体となって福島駅周辺の賑わいおよびオリンピックムードの創出を図るとともに、競技観戦などで来福する方々に対し、東日本大震災から復興する姿や農産物等の食の安全性、並びにふくしまの魅力を発信するため実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

①福島駅東口駅前広場

- と き／令和3年7月21日(水)～29日(木)の9日間
 内 容／・県や浜通り市町村などと連携し、風評払拭や復興に取り組む姿を発信
 ・復興支援への感謝と「ふくしま」の魅力を発信

②福島駅前通り、ツイン広場

- と き／令和3年7月20日(火)～25日(日)、28日(水)の7日間
 内 容／官民連携により、農産物のPR・風評払拭に取り組むほか、飲食ブース、軽トラ市の開催など福島市の魅力を発信

◆福島市水道局による観客シャトルバス乗り場での給水活動(熱中症対策) **中止**

- と き／令和3年7月21日(水)・22日(木)・28日(水)
 場 所／福島駅西口観客シャトルバス乗り場付近
 内 容／熱中症対策として給水所を設置し、ふくしまの水の美味しさと安全性をPR

◆ボランティア(2020ふくしま市民応援団)によるおもてなし **中止**

- と き／令和3年7月21日(水)～29日(木)
 場 所／コミュニティライブサイト、おもてなしイベント会場(福島駅東口周辺)
 内 容／イベント運営スタッフとして2020ふくしま市民応援団員による来場者への案内・誘導などのおもてなし活動

◆ファミツアー（メディア招聘事業）中止

大会期間中に来日している海外メディアを招いて、本市をはじめとする近隣市町村の現状を実際取材してもらい、全世界へ向けて福島のリバイバル・復興の正確な情報を発信してもらうためのファミツアーを計画していましたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止となりました。

【大会後の取り組み】

◆SOFT JAPAN ゴールドメダリストセレモニー

東京2020大会の熱戦の舞台となった「県営あづま球場」にソフトボール女子日本代表選手が集結し、チームから福島県内の皆さんへ、応援への感謝を伝えるセレモニーが実施されました。

と き／令和3年11月3日（水・祝）
場 所／県営あづま球場
内 容／来場者：約850人 ※コロナ対策のため来場者数を制限して実施

①記念品贈呈

福島市長より宇津木麗華ヘッドコーチと15名の選手たちへ、デリシャスな「福島市産リンゴ（こうとく、サンふじ）」と「土湯こけし（ソフトジャパンユニホームと金メダル着用のオリジナル）」を贈呈。

②トークイベント・抽選会

東京2020大会の試合を振り返り、参加した子どもたちから募集した質問に答えるなどのトークのあと、選手ひとりひとりが抽選を行い、当選した子どもたちに直接サインボールが手渡されました。

③グラウンドイベント

選手と参加小学生250人が6チームに分かれ「キックベース」を行い、交流を深めました。

④記念撮影

グラウンド上の子どもたちやスタンドの観客の皆さんも含め「応援ありがとう。ありがとう福島」の横断幕と共に日本代表選手たちと記念撮影を行いました。



記念品贈呈



トークイベント・抽選会



グラウンドイベント



記念撮影

事前合宿の誘致・受け入れ

目指す姿：選ばれる合宿都市

各国代表選手の合宿や大会イベントの誘致をきっかけとして、アスリートやチームスタッフに選ばれる合宿地を目指した、障がいのある人もない人もスポーツに親しむことができる環境整備に取り組みました。

◆ウィルチェアーラグビー日本代表合宿

と き／平成29年4月3日（月）～9日（日）
場 所／県営あづま総合体育館
内 容／市長激励とおもてなしの実施

◆女子車いすバスケットボール日本代表候補強化合宿

2017年世界選手権アジアオセアニア予選会に向けた女子車いすバスケットボール日本代表合宿が行われました。

と き／平成29年5月6日（土）～14日（日）
B代表 5月6日（土）～8日（月）
A代表 5月9日（火）～14日（日）
場 所／県営あづま総合体育館
内 容／車いすバスケットボール女子日本代表選手29名
（選手22名、スタッフ7名）
・体験教室（5月9日、12日）
参加者：荒井小学校児童71名
（3年生37名、4年生34名）



体験教室

◆ソフトボール女子GEM4（U23）強化合宿

平成29年6月18日から青森県弘前市で開催の女子ソフトボール国際大会「第6回東アジアカップ」に向けた、ソフトボール女子GEM4（U23）日本代表チームの強化合宿が行われました。

と き／平成29年6月12日（月）～16日（金）
場 所／十六沼公園スポーツ広場（ソフトボール練習場）ほか
内 容／ソフトボール女子GEM4日本代表24名（選手17名、スタッフ7名）
・ソフトボール教室（6月12日）
参加者：県北地区の高校ソフトボール部部員39名
（福島西高等学校、福島北高等学校、福島明成高等学校、福島成蹊高等学校）
・歓迎レセプション（6月12日）
市からは激励品として「ふくしまの水」とモモジュースを贈呈。



練習



ソフトボール教室

◆オーストラリアソフトボール協会への事前合宿誘致

オーストラリアソフトボール協会ハイパフォーマンスマネージャーを本市に招いての事前合宿誘致交渉を行いました。

- と き／平成29年8月27日（日）・28日（月）
- 内 容／・事前合宿誘致説明
 ・県営あづま球場および市内練習施設等の視察
 ・地元高校のソフトボール関係者との意見交換

◆ウィルチェアーラグビー日本代表合宿

平成30年5月24日から幕張で開催の「ジャパンパラウィルチェアーラグビー競技大会」に向けたウィルチェアーラグビー日本代表の合宿が行われました。

- 期 間／平成30年4月3日（火）～8日（日）
- と き／県営あづま総合体育館
- 内 容／ウィルチェアーラグビー日本代表選手17名ほか
 ・応援横断幕をアリーナ内に設置
 ・市長激励訪問（4月7日）
 激励品として「ふくしまの水」を贈呈。



◆ソフトボール女子日本代表第2次国内強化合宿

平成30年6月23日に県営あづま球場で「日米対抗ソフトボール2018」が開催され、その翌日からソフトボール女子日本代表の強化合宿が行われました。

- と き／平成30年6月24日（日）～27日（水）
- 場 所／県営あづま球場
- 内 容／ソフトボール女子日本代表35名
 （選手19名、スタッフ16名）
 ・土湯温泉歓迎セレモニー（6月24日）
 土湯小学校児童による鼓笛演奏、きぼっこちゃん着ぐるみによるお出迎え、記念品（こけし、きぼっこちゃんグッズ）の贈呈等を行いました。
 ・市長及び荒井・佐倉地区自治振興協議会による激励（6月25日）
 市からはサクランボ、各自治振興協議会からはモモ・リンゴジュースを贈呈。
 ・市内小学生との交流（6月26日）
 参加者：佐原小学校全学年児童31名



土湯温泉歓迎セレモニー



市内小学生との交流

◆U25女子車いすバスケットボール日本代表合宿

2019U25女子車いすバスケットボール世界選手権大会に向けたU25女子車いすバスケットボール日本代表の強化合宿が行われました。

- と き／平成30年12月13日（木）～16日（日）
 場 所／NCVふくしまアリーナ（福島市体育館・武道場）
 内 容／U25女子車いすバスケットボール日本代表19名
 （選手12名、スタッフ7名）
- ・市長激励訪問（12月14日）
 激励品として福島市産のリンゴを贈呈。
 - ・競技体験・選手交流会（12月14日）
 参加者：福島第二小学校児童49名
 （5年生、支援学級生）



市長激励



競技体験・選手交流会

◆女子車いすバスケットボール日本代表合宿

- と き／平成31年3月18日（月）～24日（日）
 場 所／県営あづま総合体育館（18日～22日）、福島市西部体育館（23日～24日）
 内 容／女子車いすバスケットボール日本代表21名（選手14名、スタッフ7名）

◆新体操日本代表合宿

「フェアリージャパンPOLA」の愛称で親しまれている新体操日本代表が合宿を行いました。合宿中の練習、演技披露は一般公開し、たくさんの方にご来場いただきました。

- と き／令和元年5月16日（木）～19日（日）
 場 所／国体記念体育館
 内 容／新体操日本代表17名（選手13名、スタッフ4名）
- ・合同練習（5月17日～18日）
 仙台大学新体操部、福島新体操クラブおよび市内・県内の新体操団体、ホワイトキューブ新体操教室（白石市）が参加。

- ・福島市長・白石市長激励訪問（5月18日）
両市から激励品として福島市産のサクランボ、白石市産のイチゴを贈呈。
- ・公開演技披露（5月19日）
フェアリージャパンPOLAの選手や仙台大学新体操部、福島新体操クラブ、ホワイトキューブ新体操教室の皆さんによる公開演技披露が行われました。
来場者：約1,300名



フェアリージャパンPOLAによる公開演技



公開演技終了後の記念写真

◆ソフトボール女子日本代表第3次国内強化合宿

野球・ソフトボール競技の開催市である本市でソフトボール女子日本代表の強化合宿が行われました。

と き／令和元年7月21日（日）～28日（日）
場 所／信夫ヶ丘球場
内 容／ソフトボール女子日本代表35名

- （選手19名、スタッフ16名）
- ・市長表敬訪問（7月22日）
激励品として福島市産のモモ、金わらじストラップ、「ふくしまの水」を贈呈。
 - ・市内訪問（7月24日）
ソフトボール女子日本代表チームの皆さんが信夫山の羽黒神社や市内果樹園を訪問し、モモ狩りなどを通して福島市の魅力を満喫しました。



市長表敬訪問



合宿中の練習風景



羽黒神社訪問



もも狩り体験

◆サッカー女子ベトナム代表強化合宿

東京2020大会出場を目指すサッカー女子ベトナム代表の強化合宿を実施しました。練習の一部やフレンドリーマッチの一般公開も行い、多くの市民にホストタウン交流相手国であるベトナムを知っていただく機会となりました。

- と き／令和元年7月29日（月）～8月10日（土）
 場 所／信夫ヶ丘競技場
 内 容／サッカー女子ベトナム代表34名
 （選手26名、スタッフ8名）
- ・市長激励訪問（7月30日）
 激励品として福島市産のモモとオリジナルこけしストラップを贈呈。
 - ・市内訪問（8月1日）
 福島市の魅力を満喫してもらうため、市内果樹園を訪問しもも狩り体験を行いました。
 - ・トレーニングマッチ（8月2日、8月7日）
 対戦相手：仙台大学女子サッカー部
 アルビレックス新潟レディース
 - ・ホストタウン登録決定キックオフイベント「フレンドリーマッチ ベトナム代表対マイナビベガルタ仙台レディース」（8月4日）
 詳細は P. 76を参照。



練習風景



市長激励訪問



もも狩り体験



フレンドリーマッチ

◆NPO法人日本パラ・パワーリフティング連盟福島市合宿

公益財団法人日本スポーツ協会が主催する、将来のオリンピック・パラリンピック選手を発掘し、応援する「Jスタープロジェクト」3期生を中心にパラ・パワーリフティングの合宿を実施しました。

と き／令和3年2月19日（金）～22日（月）

場 所／十六沼公園体育館

内 容／NPO法人日本パラ・パワーリフティング連盟
7名（選手3名、スタッフ4名）

・市長激励訪問（2月20日）
激励品として「ふくしまの水」を贈呈。



◆福島市スポーツコミッション設立総会

「選ばれる合宿都市」実現に向け、スポーツ合宿や大会、イベントの誘致・支援による福島市の活性化と、パラスポーツの推進による共生社会の実現に寄与すること、スポーツを「する」「みる」「ささえる」多様な機会の創出による市民のスポーツへの関心の向上を目的とする官民連携の組織を設立しました。また、総会後には「スポーツによるまちづくり」をテーマにパネルディスカッションを行い、その様子をオンライン配信しました。

と き／令和3年2月20日（土）

場 所／コラッセふくしま



設立総会



パネルディスカッション

◆一般社団法人日本ボッチャ協会との連携協定締結

パラスポーツの普及・促進を通して本市の共生社会実現に向けた取り組みを推進するとともに、大規模大会の誘致による交流人口拡大と地域活性化につなげるため、一般社団法人日本ボッチャ協会との間で全国4番目、東北では初となる連携協定を締結しました。

と き／令和3年5月21日（金）

主な協定内容／

【協会から本市へ】

- ・パラスポーツの普及及び促進、親しめる環境の整備
- ・パラアスリート派遣事業への継続的な連携・協力



【本市より協会へ】

- ・ ボッチャ競技をはじめとするパラスポーツの振興
- ・ 大規模大会などの大会に係る支援



締結式

◆ハンドボール男子日本代表強化合宿 **中止**

本市出身の^{かさほら けんや}笠原謙哉選手も代表に名を連ねる、ハンドボール男子日本代表「彗星 JAPAN」の東京2020大会に向けた強化合宿を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染状況と県内において感染抑制のための緊急特別対策期間（5月8日～31日）が定められたことを踏まえ、中止となりました。

- と き／令和3年5月13日（木）～17日（月）
場 所／福島トヨタ クラウンアリーナ（国体記念体育館）
内 容／・強化合宿の一般公開
・立谷^{たちや すすむ}泰久メンタルコーチ講習会（5月16日）
テーマ：「子どものやる気を引き出すメンタルトレーニングについて」
申込者：41名



◆スイスパラバドミントン代表事前合宿

東京2020パラリンピックに向けて、スイスのパラバドミントン代表チームが来福し、事前合宿を実施しました。事前合宿の受け入れにあたり、選手等への毎日の抗原定量検査による陰性確認や、バブル方式による一般の方との接触回避等の感染症対策を実施しました。

- と き／令和3年8月24日（火）～28日（土）
場 所／十六沼公園体育館
内 容／スイスパラバドミントン代表チーム4名
（選手2名、チームスタッフ2名）
・市長激励訪問
激励品として福島市産のモモと「ふくしまの水」を贈呈。



Karin Suter-Erath 選手
（カリン スーター・エラス）



Cynthia Mathez 選手
（シンシア マテズ）



市長激励訪問



練習風景

◆福島県ボッチャ協会・広島県ボッチャ協会合同合宿

福島市スポーツコミッションの事業として、東京2020パラリンピックで銅メダルを獲得した廣瀬隆喜選手^{ひろせ たかゆき}を講師に、福島県ボッチャ協会と広島県ボッチャ協会合同による強化合宿を実施しました。

- と き／令和3年10月1日（金）～3日（日）
- 場 所／福島市西部体育館
- 内 容／福島県ボッチャ協会・広島県ボッチャ協会10名
・市長激励訪問（10月3日）
激励品として福島市産のナシ・ブドウ、「ふくしまの水」を贈呈。



市長激励訪問



記念撮影

文化プログラムへの参画促進

目指す姿：地域が輝く文化都市

地域の伝承行事や歴史的建造物など、地域における個性的な文化芸術資源について、住民が認識し、地域に誇りを持ち、文化の持つ力で地域が輝くための取り組みを行いました。

◆東京2020参画プログラム

様々な組織・団体が行うイベント・事業を東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が「東京2020公認プログラム」または「東京2020応援プログラム」として認証することにより、多くの人がオリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら、大会に向けた参画、機運醸成、レガシー創出ができる仕組みです。また、認証されたイベント・事業には、東京2020応援マークが付与されます。

プログラム参画のメリット

- ・東京2020大会とつながる（オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成）
- ・地域でつながる（地域住民や関係団体等との連携）
- ・全国とつながる（活動の知名度向上と連携の拡大）
- ・未来につながる（次世代とのつながりやレガシーの創出）

◆福島市での認証事業

本市で「東京2020公認プログラム」に認証された事業は32あり、それぞれの事業で大会を盛り上げました。

参画プログラム一覧表

No.	アクション名	開催者情報	日付／会場	参加者 または入場者数	開催概要
1	スイス連邦とのホストタウン交流事業「アルプスの少女ハイジとスイス展」	主催：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会、福島市	平成29年7月30日～8月8日／こむこむ館	3,066名	ホストタウン交流相手国であるスイスについて、市民が身近に感じ学ぶ出発点となるように、日本人になじみの深い「アルプスの少女ハイジ」とスイスの観光・文化の紹介を併せた展示会を開催。
2	東北の民俗芸能	主催：旧広瀬座事業実行委員会	平成29年10月1日／旧広瀬座	197名	国指定重要無形民俗文化財「田島祇園祭のおとつや行事」で披露される田島祇園祭屋台歌舞伎の公演会を開催。会場は国指定重要文化財の旧広瀬座で、歌舞伎を演じるのは南会津在住の小学生から高校生。歌舞伎公演のほか、福島市内の子ども達による日本舞踊や民謡の公演も開催。 


No.	アクション名	開催者情報	日付／会場	参加者 または入場者数	開催概要
3	古関裕而記念音楽祭2017	主催：福島市、福島市教育委員会、福島市古関裕而記念音楽祭実行委員会 共催：公益財団法人福島市振興公社	平成29年10月29日／福島市音楽堂	877名	福島市が生んだ、昭和を代表する作曲家であり、本市名誉市民の古関裕而氏。その功績を永く後世に伝え、古関メロディーを継承していくため、市民参加型の音楽祭を開催。 市内で活動する団体や学校関係団体に加え、歌手の白鳥英美子さんが出演。
4	ふくしまからはじめよう マーチング from ふくしま 2017	主催：福島商工会議所青年部 共催：福島市	平成29年10月28日／街なか広場	2,000名	前回の東京オリンピックでは福島市出身の古関裕而氏作曲の「オリンピック・マーチ」が戦後の復興PRに寄与しました。 2020年の開会式で「オリンピック・マーチ」を今一度演奏して震災からの復興をPRするという大目標を掲げ、今回様々な個人・団体の出演を得て、復興とオリンピックへの盛り上げを発信。
5	1964年東京大会とポスター展	主催：福島市	平成29年10月30日～11月29日／福島市役所	1,760名	1964年東京大会を中心にこれまで開催された大会を当時の貴重な資料で振り返ることで、福島市でも開催される東京2020大会への機運を高め、今後大会や関連イベントに多くの人々が参画するきっかけとなることを期待し開催。
6	【投票宣言】福島市は、投票に参加します	主催：福島市	平成29年12月8日～平成30年2月22日／福島市	11,770名	東京2020大会のマスコット投票を市内全校に呼びかけました。
7	国際情勢講演会「本当のスイスを知ろう！～スイスの概況と日本との関係～」	主催：福島市国際交流協会 共催：外務省、福島市、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会 後援：在日スイス大使館	平成30年2月25日／福島テルサ	101名	スイスとのホストタウン交流を広く市民に周知し、多くの市民にスイスという国を学ぶ機会を提供するため、本講演会を開催。
8	古関裕而楽団「ふくしま古関楽団2020」結成発表会	主催：福島商工会議所青年部 共催：福島市	平成30年7月24日／福島駅東口駅前広場	500名	前回の東京オリンピックでは福島市出身の古関裕而氏作曲の「オリンピック・マーチ」が戦後の復興PRに寄与しました。私達は2020年の開会式で「オリンピック・マーチ」を今一度演奏して復興をPRするという大目標を掲げ、様々な個人・団体が構成される楽団を結成して県内外に「古関＝福島」のイメージ定着を図ります。 

No.	アクション名	開催者情報	日付/会場	参加者 または入場者数	開催概要
9	平成30年度ふくしまマスターズ大学第1回講演会	主催：福島市、福島市教育委員会	平成30年7月24日/とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）	574名	中高年層を中心とした市民に対して、困難を生き抜く勇気を与えるため、著名な講師による講演会を実施し、心身ともに健康で活力のある生活を送るとともに、生涯学習への意識の高揚を図ることを目的に開催。
10	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市2年前イベント「オリンピック・パラリンピアンと語る夢×未来」	主催：福島市、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会 共催：公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会	平成30年8月2日/国体記念体育館	180名	子どもたちがオリンピック・パラリンピアンと実際に触れ合い交流することで、オリンピック・パラリンピック競技への関心や理解を促進するとともに、本市の未来を担う子どもの夢や希望を育む契機とします。
11	第52回福島市民美術展覧会	主催：福島市教育委員会、福島市文化団体連絡協議会、福島市民美術展覧会運営委員会 後援：福島県、福島県芸術文化団体連絡協議会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMポコ	平成30年10月4日～10月8日/アオウゼ	9,930名	福島市民及び市内に通勤または通学する者から作品を公募して展示し、福島市文化の振興を図ります。 
12	ルツェルン祝祭管弦楽団メンバーらによる室内楽の調べ	主催：公益財団法人福島市振興公社、福島市教育委員会 後援：福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、テレビユー福島、福島中央テレビ、福島放送	平成30年10月14日/福島市音楽堂	410名	福島市のホストタウン交流相手国であるスイスを拠点に活動するオーケストラ・ルツェルン祝祭管弦楽団のメンバーを中心とした室内楽のコンサートを開催。
13	福島市古関裕而記念音楽祭2018	主催：福島市古関裕而記念音楽祭実行委員会・福島市・福島市教育委員会	平成30年11月4日/福島市音楽堂	924名	福島市で生まれ、1964年東京オリンピックの入場行進曲「オリンピック・マーチ」を作曲したことで知られる作曲家・古関裕而氏の偉業を称え、永く氏の功績を後世に伝えるとともに、古関メロディーの継承を目的としたコンサート。

No.	アクション名	開催者情報	日付／会場	参加者 または入場者数	開催概要
14	縄文リレーマラソン～みんなでつなげよう縄文のバトン～	主催：じょーもびあ活用推進協議会、福島市教育委員会	平成31年3月3日／じょーもびあ宮畑	350名	東京2020大会へ向けて市民一体で盛り上げるため、福島の原点である縄文人と、現代に生きる私たちを繋ぐ「じょーもびあ宮畑遺跡」で、42.195kmを福島市内の小中学生がバトンを繋ぎ、参加者全員で世界記録に挑むリレーマラソンを開催。 
15	福島市主催東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた500日前イベント「オリンピックメダリスト高橋由伸によるスペシャルトーク～東京2020 開催まであと500日！～」	主催：福島市、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会 協力：公益財団法人福島市スポーツ振興公社、東京2020組織委員会	平成31年3月16日／ホテル福島グリーンパレス	203名	東京2020大会の開催500日前を記念し、オリンピックメダリスト高橋由伸氏によるトークイベントを開催。
16	福島市議会 東京2020オリンピック・パラリンピック調査特別委員会意見交換会	主催：福島市議会 共催：福島市	平成31年3月23日／福島成蹊高等学校	66名	福島市議会オリンピック・パラリンピック調査特別委員会委員と福島市内の高校生が、東日本大震災後に世界各国から受けた支援に対する感謝を伝えるために私たちに何ができるのか、東京2020大会を契機として将来福島にどうなってほしいかなどの意見交換。
17	中央東地区 地域の個性を生かしたまちづくり計画第6回花によるおもてなし事業	主催：福島市、中央東地区自治振興協議会、中央東地区まちづくり計画推進懇談会	令和元年5月26日／福島市役所	77名	街なかを訪れる皆さんをきれいな花で「おもてなし」するため、ボランティアでプランターに花苗の植栽を行いました。 
18	ふくしま市政出前講座「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた取り組み」	主催：福島市	①令和元年7月2日／上松川健康の家 ②令和元年9月6日／飯野学習センター ③令和元年10月7日／飯坂学習センター ④令和元年10月10日／とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター） ⑤令和元年10月17日／吾妻学習センター一分館 ⑥令和元年12月21日／(株)ニューメディア福島センター	133名	市職員等を講師として派遣し、市政への理解と関心を深めてもらい、市民との対話によるコミュニケーションで「開かれた市政」の推進を図るための「ふくしま市政出前講座」で、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた取り組み」を講演。 

No.	アクション名	開催者情報	日付/会場	参加者 または入場者数	開催概要
19	福島市民2020参加宣言“YELL” from Fukushima city	主催：福島商工会 議所青年部 共催：福島市	令和元年7月24日/ 福島駅東口駅前広場	200名	東京2020大会に対する個人としての参加意識を高めると同時に、福島市にゆかりある外国人の方々に自国に発信してもらうことで競技の開催や1964年に演奏された古関裕而作曲「オリンピックマーチ」の演奏を通じ、全世界への復興PR実現を目指します。
20	カウントダウンはじまる！感動、歓喜の瞬間へ～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～	主催：福島市	令和元年8月23日/ アオウゼ	21名	ついにカウントダウンが始まる東京2020大会。大会の全体像、福島県の取り組み、今後のスケジュールなどをお話します。感動の瞬間へ向け、準備しよう！
21	Thanks to Fukushima	主催：福島商工会 議所 共催：福島市	令和元年9月14日/ 吾妻通り三角広場	500名	福島の未来をつくる子どもたちで行う運動会、名誉市民である古関裕而氏が残したメロディーの演奏を実施。
22	バリアフリー推進パートナーキックオフミーティング	主催：福島市	令和元年9月30日/ コラッセふくしま	233名	東京2020大会を契機に、官民一体となったハード・ソフト両面のバリアフリーを実践するため、「バリアフリー推進パートナー」を立ち上げました。『誰にでもやさしいまち ふくしま』の実現を目指し、市長によるキックオフ宣言、記念講演、座談会を開催しました。 
23	おもてなし英会話【基礎編】～東京オリンピックまでにマスターしよう！～	主催：福島市	令和元年11月5日/ アオウゼ	23名	カウントダウンが始まっている東京2020大会。福島の紹介や案内などを英語で話してみよう。初心者でも大丈夫！
24	福島市古関裕而記念音楽祭2019	主催：福島市古関裕而記念音楽祭実行委員会、福島市	令和元年11月10日/ ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)	1,724名	福島市で生まれ、1964年東京オリンピックの入場行進曲「オリンピック・マーチ」を作曲したことで知られる作曲家・古関裕而氏の偉業を称え、永く氏の功績を後世に伝えるとともに、古関メロディーの継承を目的としたコンサートです。 
25	中央東地区 地域の個性を生かしたまちづくり計画 第7回花によるおもてなし事業	主催：福島市、中央東地区自治振興協議会、中央東地区まちづくり計画推進懇談会	令和元年11月16日/ 福島市役所	68名	街なかを訪れる皆さんをきれいな花で「おもてなし」するため、ボランティアでプランターに花苗を植栽しました。

No.	アクション名	開催者情報	日付／会場	参加者 または入場者数	開催概要
26	第18回福島県男女共生のつどい・福島市男女共生セミナー2019	主催：福島市	令和元年11月23日／ バルセイいざか	1,650名	東京2020大会野球・ソフトボール競技の本市開催にともない、オリンピズムの機運が高まっていることから、今大会は『互いに支え合い歩む未来へ～差別・偏見のない共生の社会～』をテーマに開催。講師に元女子レスリング選手・オリンピックメダリストの吉田沙保里氏をお招きし、「迷わない力～夢を実現するために私が続けていること～」をテーマにトークショーを行いました。
27	上岡土偶活用プロジェクト『縄文展その後～縄文土偶の魅力語る～』	主催：福島市	令和2年1月19日／ こむこむ館	100名	平成30年に東京国立博物館とパリで開催された「縄文展」。福島市の国重要文化財「しゃがむ土偶」も出展し、世界的に注目を浴び大盛況で幕を閉じました。人々を魅了する縄文の魅力はどこにあるのか、土偶女子の火付役となった響田亜紀子氏と「縄文にハマる人々」の映画監督山岡信貴氏を招きトークショーと映画上映会を開催。
28	第2回 縄文リレーマラソン～つなげよう縄文のバトン～	主催：福島市 共催：(公財)福島市振興公社	令和2年3月1日／ じょーもびあ宮畑	※新型コロナウイルス感染拡大により中止	東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けて市民一体で盛り上げるため、福島の原点である縄文人と、現代に生きる私たちを繋ぐ「じょーもびあ宮畑遺跡」で、42,195kmを福島市内の小中学生がバトンを繋ぎ、参加者全員で世界記録に挑む縄文リレーマラソンを開催。
29	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた100日前イベント in 福島市「福島圏域11市町村絆イベント～Tokyo 2020 100 Days to Go!～」	主催：福島圏域連携推進協議会	令和2年4月19日／ 県営あづま球場、とうほう・みんなのスタジアム（県営あづま陸上競技場）	※新型コロナウイルス感染拡大により延期	福島圏域市町村と連携して大会100日前イベントを開催することで開催都市である福島市だけでなく周辺自治体とともに大会の機運醸成を図ります。オリンピックメダリストである高橋由伸さん、上原浩治さんをお招きし野球教室、ランイベント、トークショーを行うことで本市で開催される野球・ソフトボール競技への関心を高めます。
30	ダイワハウスプロ野球OBフェスタ in 福島	主催：日本プロ野球OBクラブ（公益社団法人全国野球振興会） 共催：福島市・福島圏域連携推進協議会 協賛：大和ハウス工業株式会社 協力：福島県野球団体協議会	令和3年6月13日／ 信夫ヶ丘球場・信夫ヶ丘競技場	402名	東京2020大会開催1カ月前に福島市で開催される野球イベント。福島圏域市町村の大会に向けたオリパラムードを高めるとともに、復興五輪としての面から、イベントを通して震災からの復興を発信し、風評払拭へつなげていきます。
31	福島市おもてなしフェンス	主催：福島市	令和3年7月19日～ 7月29日／JR福島駅西口周辺	270名	東京2020大会の野球・ソフトボール競技が開催される福島市で、観戦に訪れた方々をおもてなしするため、福島駅西口に設置するフェンスを活用し、福島ゆかりのアーティストや市民の皆さんのアートでフェンスシートを彩ります。

No.	アクション名	開催者情報	日付／会場	参加者 または入場者数	開催概要
32	東京2020大会開催に向けた「花によるおもてなし事業」	主催：福島市	令和3年7月21日～ 7月28日／ 福島市内	100名	<p>東京2020大会野球・ソフトボール競技の本市開催に向け、観客・選手輸送ルート上を花で彩る「花によるおもてなし」の実施を希望する町内会等の地域団体に対し、花苗等の必要物品を提供し、地域のおもてなし活動を応援することで大会への機運醸成や選手・観戦者へのおもてなしを図ります。</p> 

ホストタウン交流事業の推進

目指す姿：未来につながる国際都市

海外から選ばれる都市を目指し、外国人とも積極的にコミュニケーションを図っていくことができる人材を育成するため、市民とスイス・ベトナム関係者の交流する機会を数多く創出しました。

(1) ホストタウンとは

日本の自治体と、東京2020大会に参加する国・地域の住民等がスポーツ、文化、経済などの多様な分野で交流することを通じて、地域の活性化等に活かし、東京大会を超えた未永い交流を実現することを目的とした取り組みです。

この「ホストタウン」の取り組みは過去の大会にはないもので、令和元年12月に「オリンピック休戦決議」が国連総会で採択された際に、史上初の取り組みとして「ホストタウン」が紹介されています。令和3年7月13日現在で、登録する自治体数も533となり、受け入れる相手国・地域数も185となっています。

(2) 特定の目的を掲げて活動するホストタウン

①復興ありがとうホストタウン

東日本大震災から復興した姿を見せつつ、これまでの支援への感謝を伝えるために、支援をしてくださった相手国・地域の方々や大会関係者との交流を行う自治体

②共生社会ホストタウン

パラリンピアンを受け入れを契機に、特色のある総合的なユニバーサルデザインの街づくりおよび心のバリアフリーの取り組みを実施し、大会以降も共生社会の実現を目指す自治体

③先導的共生社会ホストタウン

共生社会ホストタウンのうち、ユニバーサルデザインの街づくりおよび心のバリアフリーの取り組みが特に先導的・先進的と認められ、内閣官房より認定された自治体

(3) 福島市のホストタウン交流相手国



スイス連邦

東日本大震災と原発事故以降に、「スカイスポーツ国際交流フェスティバル」や「ルツェルン・フェスティバル・アーク・ノヴァ2015 in 福島」の本市開催などを通じてスイスに復興への支援をいただいたことがきっかけとなり、ホストタウン登録となりました。

- 平成28年12月9日 ホストタウン登録決定
- 令和元年12月17日 共生社会ホストタウン登録決定
- 令和2年3月6日 先導的共生社会ホストタウンに認定



ベトナム 社会主義共和国

ベトナムと福島市はこれまで良好な関係を築いており、本市在住のベトナム出身者は過去5年で6倍に増えその数を伸ばしています。また、ベトナムサッカー代表チームの事前合宿実施（令和元年度サッカー女子代表合宿、令和2年度アンダー世代（U-19）代表合宿、出場権を獲得した場合のオリンピック代表の事前合宿）について合意を得たことにより、交流を通じて地域活性化やインバウンド推進、交流人口の拡大が図られることから、ホストタウン登録に至りました。

- 令和元年6月28日 ホストタウン登録決定

(4) 福島市のホストタウン交流事業

◆ブライトリングDC-3との交流

ブライトリングDC-3がワールドツアーの一環として来日し、復興支援の目的で福島市を訪問するにあたり、ホストタウン交流キックオフイベントとしてウェルカムレセプションおよび市内小学生の体験飛行を実施しました。

【ウェルカムレセプション】

と き／平成29年5月25日（木）

場 所／ザ・セレクトン福島

参 加 者／155名

内 容／・ジュエリーふくしま・フィルハーモニー・オーケストラ（福島大学管弦楽団、福島大学吹奏楽団、福島県立医科大学管弦楽団、福島県立医科大学ウインドアンサンブル、県立会津大学管弦楽団）による「ウィリアム・テル序曲」などの演奏
・ブライトリングDC-3機長 フランシスコ・アグーロさんによるスピーチ
・スイスワインの試飲

【ブライトリングDC-3体験飛行】

と き／平成29年5月26日（金）

場 所／福島空港

参 加 者／27名（大笹生小学校6年生ほか）

内 容／・航空宇宙ジャーナリスト なかむら ひろみ 中村浩美さんによるDC-3解説
・キッズフライト（福島空港発→福島市上空→福島空港着）



ブライトリングDC-3体験飛行

◆アルプスの少女ハイジとスイス展

ホストタウン交流キックオフイベント第2弾として、テレビアニメ「アルプスの少女ハイジ」の世界を通してスイスを身近に感じられるイベントを実施しました。

と き／平成29年7月30日（日）～8月8日（火）

場 所／こむこむ館

来 場 者／3,066名

内 容／・「アルプスの少女ハイジ」やスイス文化についての紹介パネル、アルプホルン、カウベル、スイスの民芸品の展示
・記念撮影コーナー
・「アルプスの少女ハイジ」総集編の上映
・初日イベント：オープニングセレモニー、スイス政府観光局マーケティングマネージャー 牧野祐子さんによるトークショー



アルプホルン・カウベルの展示



ハイジパネル展示

◆スイスパネル展

スイスの風景や文化について紹介するパネルを展示しました。

展示最終日にはジャン＝フランソワ・パロ駐日スイス大使が来館し、福島市長と一緒に展示をご覧になりました。

と き／平成30年9月28日（金）～10月14日（日）

場 所／福島市音楽堂2階ロビー



スイスパネル展



ジャン＝フランソワ・パロ駐日スイス大使（写真左）

◆ももりんランチの提供

市役所食堂にてスイス料理を取り入れた特別メニューを提供しました。

と き／平成30年10月11日（木）・12日（金）

場 所／福島市役所9階食堂

内 容／1食500円、各日限定50食

メニュー／アルペンマカロニ、チーズミルクファンテ（チーズと卵のスープ）、野菜サラダ、バゲット、ヨーグルト、スイスの老舗ブランド「カイエ」のチョコレート



ももりんランチ



食堂の様子

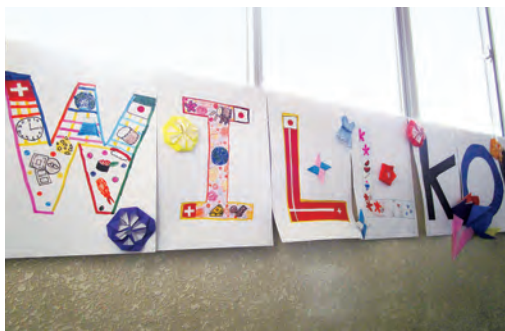
◆在日スイス大使館による学校交流

在日スイス大使館職員が渡利小学校に来校し、6年生を対象にスイスの歴史や文化に関する授業を実施しました。また、スイス料理をメニューに取り入れた給食を大使館職員と一緒に喫食しました。

と き／平成30年10月12日（金）

場 所／渡利小学校

内 容／
 ・ウェルカムボードの製作やスイスについての調べ学習
 ・在日スイス大使館職員による交流学習
 ・スイス伝統料理の給食交流



手づくりのウェルカムボード



交流学習



給食交流



アルペンマカロニ(中央)・ベルナープラッテ(右)

◆スイスフェスタ

スイスへの関心や理解を深めるため、スイスの食や文化などをテーマとしたイベントを開催しました（四季の里アグリパーク・フェスタ秋と同時開催）。

と き／平成30年10月13日（土）

場 所／四季の里

来 場 者／3,031名

- 内 容／
- ・スイスアンサンブル「エンツィアン」によるスイス民族音楽の演奏
 - ・スイス料理「ラクレット」500食提供
 - ・ホットチョコレートドリンクの400杯提供
 - ・スイスPRブース出展



エンツィアンによる演奏



スイスPRブース

◆スイス柔道連盟との交流

スイスで柔道を学ぶ学生ら15名が来日し、市内で体験プログラムを実施しました。

- と き／平成31年4月15日（月）～19日（金）
 会 場／NCVふくしまアリーナ（福島市体育館・武道場）ほか
 内 容／・歓迎レセプション
 ・果樹園での農業体験（協力：安齋果樹園）
 ・市内中高生との柔道交流
 ・大鳥中学校での学校交流
 ・市内施設見学（花見山、堀切邸、文知摺観音境内、じょーもぴあ宮畑、民家園）
 ・体験学習（こけしの絵付け、着物の着付け）



農業体験



柔道交流



学校交流



着物着付け体験

◆ふくしま復興支援コンサート～スイス国と共に～

スイスから合唱団や音楽家が来日し、市内の小学生～大学生と国内音楽家とともにコンサートを実施しました。スイスの合唱団「YOROKOBI」は、福島滞在期間中に市内果樹園でのモモ狩りを楽しんだほか、富岡町にある「東京電力廃炉資料館」を訪問し、原発事故発生からの復興の様子を見学しました。

- と き／令和元年7月21日（日）
 場 所／ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）
 来 場 者／約750名

出演者（関係者含む）／184名（スイス在住音楽家・団体35名、国内音楽家・団体149名）
市内の出演団体／F Y S 福島青年管弦楽団、福島大学混声合唱団、福島南高等学校合唱部、
信夫中学校合唱部、福島第三小学校特設音楽部



コンサート全出演者



モモ狩り体験



東京電力廃炉資料館（富岡町）見学

◆ホストタウン登録決定キックオフイベント「フレンドリーマッチ」

ベトナムのホストタウン登録を記念し、サッカー女子ベトナム代表合宿時に交流試合を開催しました。

と き／令和元年8月4日（日）

場 所／信夫ヶ丘競技場

来 場 者／約600名

対戦相手／マイナビベガルタ仙台レディース



◆GAP食材を使ったおもてなしコンテスト

ホストタウン相手国の選手などを、GAP食材を使った料理でおもてなしすることを想定した事業に、本市と福島県立福島明成高等学校(以下、明成高校)がチームを結成し参加しました。

と き／令和元年9月6日(金)～令和2年2月7日(金)
内 容

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局主催

「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」

概 要：東京2020大会に向けて世界各国からホストタウンを訪問する各国・地域の選手等に対する、高校生等によるGAP食材を使ったおもてなしを発揮し、日本の食材・おもてなしの心の素晴らしさを発信することを目的に実施するコンテスト。「福島市×福島県立福島明成高等学校」プロジェクトチーム

企画名 「実・湧・満・彩 おもてなし計画」

おもてなし対象国：ベトナム社会主義共和国

考案したメニュー：・生春巻き

- ・串カツ
- ・鮭ときのこの炊き込みご飯
- ・米粉ムースケーキ
- ・米粉ロールケーキ

プロジェクトの取り組みとスケジュール

- 9月6日 コンテストにエントリー
- 9月17日 一次審査通過(40チームの中に選ばれる)
- 10月7日 ベトナム講習会(場所：明成高校)
講師：福島国際交流事業協同組合 ブイ・バン・ホック氏
- 10月中旬 企画作成
- 11月29日 事業完成報告
- 12月16日～令和2年1月15日
応援投票受付
- 3月8日 表彰式(本チームは受賞ノミネート外)



完成したおもてなし料理



明成高校プロジェクトメンバー

◆スイス・ベトナム グルメスタンプラリー

多くの方にスイス・ベトナム料理を通じて両国への関心や理解をより一層深め、東京2020大会に向けての機運醸成を図りました。

と き／令和元年10月25日(金)～令和2年1月24日(金)

参加方法／(1) 参加店21店舗でスイス・ベトナム料理を注文し、会計時にスタンプラリーカードを提示。
(2) スタンプが集まったら、カードに必要事項を記入してポストに投函。抽選でスタンプ数に応じた景品をプレゼント。

応募総数／67名



スタンプラリー台紙



スイス料理・チーズフォンデュ



ベトナム料理・フォー

◆2019ホストタウンフェスティバル in ふくしま

スイス・ベトナムの文化を楽しめるイベントを開催しました。

と き／令和元年11月4日（月・振替休日）

場 所／街なか広場、まちなか交流スペース（現 ふくふる）

来 場 者／約3,000名

内 容／【スイスフェスティバル】

つるし雛作成体験、スイス風景写真撮影コーナー、輪投げ・的当てゲーム、スイス料理販売など

【ベトナムフェスティバル】

アオザイファッションショー、バンブーダンス、尺八・トルンの演奏、ベトナム料理販売など



オープニングセレモニー。
ヴー・ホン・ナム駐日ベトナム大使（右から3番目）



スイス風景写真撮影コーナー



スイスのつるし雛作成体験



アオザイファッションショー

◆スイスへ届け！福島市からのエール

東京2020大会を目指すスイス選手に向けて、これまで本市ホストタウン事業に協力いただいた個人・団体が出演したメッセージ動画を作成しました。完成した動画は YouTube 等を通じてスイスに発信しました。

と き／令和3年1月から

出演者・団体（順不同）／

福島市長、佐藤^{さとう}ローザマリーさん、管野^{かんの みつあき}光昭さん、武田^{たけだ こうすけ}康佑さん、2020ふくしま市民応援団、大鳥中学校特設剣舞部、明成高校、安斎果樹園、福島市観光コンベンション協会、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会専門部会文化・ホストタウン事業部会
 内容／・ホストタウン特設サイトに掲載する応援メッセージ動画（日本語・英語字幕）
 ・選手へ直接発信する応援メッセージ動画（日本語・英語字幕）



ホストタウン特設サイト掲載動画



選手へ直接発信する動画

◆「共生社会ホストタウンサミット in 多摩川」(オンライン参加)

オリ・パラ担当大臣や共生社会ホストタウン自治体首長らが集い、大会を契機とした共生社会の実現に向けた取り組み等を共有・発信しました。

と き／令和3年1月30日（土）

内容／福島市長と福島県障がい者スポーツ協会の増子^{ましこ めぐみ}恵美さんがオンラインで参加し、本市の共生社会への取り組みについての事例発表等を行いました。



◆スイス×福島市おもてなしレシピを用いた交流

明成高校に協力いただき、事前合宿で本市を訪れるスイスチームに提供することを想定したGAP認証食材を中心としたおもてなしレシピを開発し、ホストタウン相手国の選手と住民との「食」を通じた交流を図りました。

と き／令和3年4月～9月

- 内 容／
- ・在日スイス大使館職員とのオンライン交流
大使館職員より、スイスの国の歴史や食・風習などを動画や写真を使って説明していただき、食を中心とした意見交換が活発にされました。
 - ・レシピ考案
素材の味・食感を楽しめる「かき揚げ」、福島の果物を味わえる「リンゴジャムを炊き込んだご飯」「モモを使ったパイ」を考案しました。
 - ・選手応援メッセージ動画の撮影
事前合宿では、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ観点から直接交流ができないため、宿泊施設での料理提供時に選手に見てもらおう応援メッセージ動画を撮影しました。



オンライン交流



選手応援メッセージ動画



かき揚げ



リンゴジャムを炊き込んだご飯



モモを使ったパイ

◆ホストタウン フレーム切手

スイス・ベトナムそれぞれのフレーム切手を作成し、両国の魅力や本市とのホストタウン交流を広く全国にPRしました。

※「フレーム切手」は、日本郵便株式会社の登録商標です。

※「ホストタウン フレーム切手」は、郵便局窓口・インターネットで販売しています。

- と き／令和3年7月21日より販売開始
 内 容／・スイス、ベトナム各500部作成
 ・7月20日に切手贈呈式が行われ、福島中央郵便局長より福島市長へ切手が寄贈されました。



切手贈呈式

◆ホストタウンフェスティバル 中止

大会期間中に、ホストタウン交流相手国であるスイス、ベトナムの食や文化などの魅力を体感できるイベントを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

- と き／令和3年7月24日（土）・25日（日）
 場 所／福島駅前通り

◆スイスパラバドミントン代表選手との交流

選手団の事前合宿期間中に、市内の学生たちとの交流事業を行いました。

合宿期間／令和3年8月24日（火）～28日（土）

選 手 団／Karin Suter-Erath（カリン ズーター・エラス）選手、
 Cynthia Mathez（シンシア マテズ）選手、チームスタッフ2名

- 内 容／・明成高校の生徒が考案したおもてなし料理の提供
 G A P認証食材を使った「かき揚げ」を選手団に提供。選手たちは、明成高校の生徒たちからのビデオメッセージを視聴し、料理を堪能しました。
 ・子どもたちとのオンライン交流
 参加者：福島県障がい者スポーツ協会主催の「運動導入教室」に参加している子どもたち5名



明成高校生徒考案のおもてなし料理の提供



子どもたちとのオンライン交流

◆ホストタウン交流相手国応援チケット **中止**

組織委員会の「ホストタウン登録自治体向けチケット」を活用した市独自事業として、本市のホストタウン交流相手国スイスの金メダル有力候補である車いすマラソン選手を応援するためのチケット販売を予定しておりましたが、無観客開催となり中止となりました。

- と き／令和3年9月5日（日）
- 場 所／オリンピックスタジアム
- 内 容／パラリンピック 陸上競技（マラソン）チケット
- 枚 数／30枚

◆「共生社会ホストタウンサミット in 福島」（会場参加）

東京2020大会を契機とした共生社会の実現に向けた取り組みが末永く続くための礎を築き、将来にわたりレガシーとして継続・発展させていく機運を醸成するとともに、障がいのある人もない人も共に支えあう共生社会の実現に向けた決意を新たにす場として、「共生社会ホストタウンサミット in 福島」をオンライン開催しました。

- と き／令和3年9月11日（土）
- 場 所／ザ・セレクトン福島
- 本市出演者／・福島市長
 - ・NPO法人ふくしまバリアフリーツアーセンター長
佐藤由香利さん
 - ・福島学院大学福祉学部福祉心理学科4年生
若松あゆみさん
- 内 容／・開式あいさつ（福島市長）
 - ・共生社会ホストタウン等による事例発表
（佐藤由香利さん、若松あゆみさん）
 - ・パネルディスカッション（福島市長）

オンライン

- 参加者／・共生社会ホストタウン 86自治体
- ・オリ・パラ担当大臣
- ・国土交通大臣（ビデオメッセージ）
- ・東北運輸局長



サミット出演者



事例発表

◆ホストタウンPRブース出展

○結・ゆい・フェスタ（主催／福島市国際交流協会）

①と き／平成29年9月17日（日）
場 所／アオウゼ
内 容／スイスパネル展示、スイスの食べ物・飲み物の試食

②と き／平成30年9月16日（日）
場 所／アオウゼ
内 容／スイスパネル展示、観光パンフレットの配布

③と き／令和元年9月15日（日）
場 所／アオウゼ
内 容／スイスパネル展示、ベトナムサッカー女子代表合宿の取り組みパネル展示、
スイスのチョコレート・ハーブティーの試食

④と き／令和2年9月12日（土）
場 所／街なか広場
内 容／スイスパラ陸上選手・共生社会パネル展示、スイス風景を紹介するVR体験、マーモット輪投げ

⑤と き／令和3年10月31日（日）
場 所／ツイン広場、いちい街なか店
内 容／スイスパラバドミントン代表合宿の取り組みパネル展示、マーモット輪投げ

○ワイン・ヴァン・ヴィーノ

主 催／ワイン・ヴァン・ヴィーノ実行委員会
と き／平成29年9月23日（土）・24日（日）
場 所／ツイン広場、街なか広場
内 容／・展示企画「スイスの地理とワイン」
・体験企画「スイスの遊びを体験から話題のスイス玩具キュボロに挑戦！～」

○オリンピック・パラリンピックを体験！

ふくしまフェスティバル in 郡山
主 催／福島県、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、喜多方市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、大玉村、南会津町、北塩原村、猪苗代町
と き／令和元年10月26日（土）・27日（日）
場 所／イオン郡山フェスタ店
内 容／・スイスをイメージしたつるし雛の展示
・スイスの民族衣装を着て写真を撮れるフォトスポット



結・ゆい・フェスタ



ワイン・ヴァン・ヴィーノ



ふくしまフェスティバル in 郡山

◆給食におけるスイス料理提供

ホストタウン交流相手国を中心とした外国への理解を深めるため、学校給食で市立学校の児童・生徒に外国料理を提供しました。また、野球・ソフトボール競技が本市で開催する東京2020大会を児童・生徒にPRするため、トレーマットを配布しました。

①令和元年6月 スイス料理（アルペンマカロニ、ベルナープラッテ）

なるほど！

東京2020オリンピック・パラリンピック

第1号は「ホストタウン」について知ろう！

？ ホストタウンってなあに？

ホストタウンとは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに、大会に参加する国や地域と交流することをいいます。お互いの文化などを交流することで、地域の活性化を目指しています。

？ スイスと福島市のつながりは？

2011年3月11日の東日本大震災や原発事故で被害を受けた福島市。そんな大変な時期に福島市で開催した2つのイベントがあります。

「スカイスポーツ国際交流フェスティバル」
「ルツェルン・フェスティバル・アーク・ノヴァ2015 in 福島」

どちらも、開催にはスイスから支援の手を差し伸べていただきました。

今日は特別献立か

スイス料理を味わおう

今日は給食でスイス料理を味わいました。
今日のメニューの中から「アルペンマカロニ」の作り方をご紹介！

「アルペンマカロニ」は、マカロニと茹でたじゃがいもをチーズであえた素朴なメニューで、主にアルプスなどの山岳地方で昔から食べられてきました。

ふくしま復興支援コンサート・スイス国と共に

と き：2019年7月21日（日）
開場 午後1時 開演 午後2時

と ころ：ふくしま夢の音楽堂（福島市音楽堂）

※入場券（無料・要申込）が必要です。
詳しくは市政だより6月号をご覧ください。

問：東京オリンピック・パラリンピック競技大会
福島市推進室 ☎024-563-5660

*** アルペンマカロニ ***

材料	4人分
マカロニ	40g
じゃがいも	100g
バター	4g
ベーコン	40g
玉葱	80g
酒	小さじ1
生クリーム	大さじ1/2
白ワイン	小さじ1/2
とろけるチーズ	20g
塩	少々
こしょう	少々
パセリ	少々

<作り方>

- マカロニと角切りにしたじゃがいもは、それぞれ茹でておく。
- 鍋にバターを熱し、スライスしたベーコン、千切りにした玉葱を入れ、酒を振りかけて炒める。
- ベーコン、玉葱に火が通ったら、生クリーム、白ワインを加え、煮る。
- 茹でたマカロニ、じゃがいも、チーズを加え、あえる。
- 最後に、塩、こしょうで味を調え、パセリを散らす。

ぜひおうちでも作ってみよう！

裏面も見てね

水素で走る燃料電池バスが福島市にやってくる！

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まであと1年！
7月に行う1年前イベントで、水素で走る燃料電池バスが福島市にやっ

てきます。この燃料電池バスは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のときも大活躍！夏休みに、福島市で一足先に燃料電池バスを体験しちゃおう！

水素で走る燃料電池バス試乗会

と き 2019年7月24日（水）

と ころ あづま総合運動公園大駐車場

運行スケジュール（1回10分程度）

①午後1時30分	②午後2時
③午後2時30分	④午後3時
⑤午後3時30分	⑥午後4時
⑦午後4時30分	⑧午後5時

定員 各回20名程度（先着順）

※申し込み方法など詳しくは、市政だより7月号をご覧ください。

問い合わせ 福島市 環境課 再生可能エネルギー推進係
☎024-525-3742

？ 水素ってなあに？

水素とは、地球の中ではこんな気体（ガス）です。
無色・色がついていない透明のもの
無臭・においがない
無毒・水素を吸っても体に悪くない！

？ 燃料電池バスってどんな車？

燃料電池は、水素と空気中の酸素を化学反応させて電気を発生させます。この発生させた電気エネルギーで車を走らせます。
ガリンで走る車は、大気を汚してしまう原因となる排出ガスを排出してしまいがちですが、この燃料電池で走る車が出すのは**水だけ！**
環境にとってもやさしい！

だから、水素は

東京オリンピック・パラリンピック競技大会で大活躍！

①選手村で水素エネルギーを供給
②大会会場周辺から東京駅まで水素で走る燃料電池バスを運行
③水素で走る燃料電池自動車（FCV）が大会で公式に使われる

燃料電池バス（FCV）
燃料電池自動車（FCV）

②令和元年9月 ベトナム料理（小松菜とキャベツのゴイ・春巻き、ベトナム風米粉めん入りスープ）

なるほど！

東京2020オリンピック・パラリンピック

？ ホスタタウンってなに？

ホスタタウンとは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに、大会に参加する国や地域と交流することをいいます。お互いの文化などを交流することで、地域の活性化を目指しています。

？ ベトナムと福島市のつながりは？

- ベトナムサッカー代表チームの合宿を福島市で行う約束をした
- 良好な関係を築いている
- 福島市在住のベトナム人は285人
- 過去5年で6倍に増えて急激にその数を伸ばしている
- 交流を通じ、地域活性化やインバウンド（※）の推進、交流人口の拡大が図れる

こうしたきっかけで、ホスタタウンに登録されました！

※インバウンドとは、外国人が日本に旅行に来ること。



ベトナム料理を味わおう

給食のメニューの中から「フォー」の作り方を紹介！

「フォー」はベトナムを代表する国民的料理で、1日3食フォーを食べる人もいます。フォーはお米を使った平たい麺で、ベトナムでは野菜や肉と一緒にスープに入れてよく食べられています。

* フォー *

<材料 4人分>

鶏もも肉	80g
油	少々
酒	小さじ1/2
玉葱	80g
にんじん	20g
チンゲン菜	60g
もやし	80g
フォー（米粉めん）	20g
水	360g
しょうゆ	小さじ2
しょうゆ	少々
だし	大さじ1
こしょう	少々

<作り方>

- フォー（米粉めん）は下茹でしておく。
- 鶏もも肉は一口大、玉葱は薄切り、にんじんは千切り、チンゲン菜ともやしは2〜3cmほどに切る。
- 鍋に油を熱し、鶏肉に塩を振りかけて炒める。
- そこににんじん、玉葱を加えて炒める。③に水を加えて煮る。
- にんじんが柔らかくなったら、残りの野菜を加えて煮る。
- 最後に米粉めんを加えて調味料を入れ、味を付ける。

ぜひおうちでも作ってみてね！

2020年！福島市で

東京オリンピックが開催！

？ そもそもオリンピックとは？

オリンピックは4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典です。スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的とし、夏季大会と冬季大会を行っています。

世界中の選手が集まって開催されているオリンピック。1年後の東京2020オリンピックは、1964年以来、56年ぶりに東京で開催されます！

開催日程

オリンピック：2020年7月24日（金）～8月9日（日）

パラリンピック：2020年8月25日（火）～9月6日（日）

？ 福島市でオリンピックが開催！

東京2020オリンピックで行われる全33競技のうち、野球・ソフトボール競技が福島市にある「福島あづま球場」で開催されます！

ソフトボール競技は、2020年7月24日（金）の開会式よりも先に開催されるため、福島市からオリンピックが始まっていきます！

開催日程

ソフトボール：2020年7月22日（水）・23日（木）


野球：2020年7月29日（水）

※観戦チケットは、秋ごろに第2次抽選販売予定。
2020年春には公式チケット販売所での先着販売予定です。

福島あづま球場 改修中！

2019年9月末完成予定！

開催会場の「福島あづま球場」は、2018年11月からオリンピックに向けて改修工事中です。天然芝のグラウンドを人工芝にするとともに、トイレの洋式化や多目的トイレを多く作ったり、車いすの方でも安心して観戦できるように、車いす用エレベーターの設置などの改修工事を進めています。



新しい福島あづま球場で日本女子ソフトボールリーグ開催！

10月5日（土）	午前10時30分	トヨタ	VS	NEC	詳しくは公式HPをご覧ください
	午後1時	伊予銀行	VS	BIC	
10月6日（日）	午前10時30分	NEC	VS	伊予銀行	QRコード
	午後1時	BIC	VS	トヨタ	

参加費無料

第18回福島県男女共生のつどい・福島市男女共生セミナー2019


元女子スリング選手/オリンピックメダリスト

吉田沙保里さんトークショー

と き：2019年11月23日（土）
午後1時10分（開場：正午）

と ころ：パルセイリざか 定員：1,500名

※申し込み方法など詳しくは市政だより10月号をご覧ください。



③令和2年2月 メキシコ料理（鶏肉のメキシカンソース、かぼちゃと豆のサラダ、かぶのスープ）

なるほど！

とうきょう
東京2020オリンピック・パラリンピック

佐々木 真菜 選手（東邦銀行）
東京2020/パラリンピック代表に内定！

福島市出身の佐々木真菜選手（22歳）が東京2020/パラリンピック陸上女子400メートル（視覚障害T13）の代表に内定しました！
佐々木選手は東邦銀行陸上部で、練習をがんばっています。
世界の大舞台へ挑む佐々木選手をみんなで応援しよう！

佐々木選手からのメッセージ

東京2020/パラリンピックでは、金メダルを目指してがんばります！

そして、応援してくれる福島のみんに笑顔と勇気をお届けしたいです！

？パラリンピックってなに？

パラリンピックは、障がいのあるトップアスリートが出場できるスポーツのお祭りです。4年に一度、世界的なスポーツのお祭りであるオリンピック競技大会が終わった後、同じ場所で開催されています。

東京2020/パラリンピックは、2020年8月25日（火）から9月6日（日）まで開催！佐々木選手の出場競技は9月5日（土）開催です！

りょうり あじ

メキシコ料理を味わおう

今年、いよいよ東京2020大会が開催！福島市では、7月22・23日に福島あづま球場でソフトボール競技が行われます。今日は、そのソフトボール競技に出場する6つの国の1つ、メキシコへの理解を深めるため、給食でメキシコ料理を味わいました。給食で味わったメニューの中から「鶏肉のメキシカンソース」の作り方を紹介！メキシコ料理に欠かせない「チリ」を使った、ピリッと辛いトマトソースの料理です。

鶏肉のメキシカンソース

材料	4人分
鶏もも肉	160g
塩・こしょう（下味用）	少々
小豆粉	適量
油	小さじ2
玉葱	40g
にんじん	25g
ピーマン	20g
にんにく	1/2片
顆粒コンソメ	小さじ1
ホールトマト缶	100g
塩・こしょう（ソース用）	少々
チリペッパーソース	少々

＜作り方＞

- 鶏肉は一口大に切って、塩・こしょうで下味をつける。
- 鶏肉に小麦粉をまぶし、鍋に油（半量）を熱して焼く。表面に焼き色が付いたら、蓋をして蒸し焼きにする。鶏肉に火が通ったら一度鍋から取り出す。
- 豆粉、にんじん、ピーマンは5mm角に切り、にんにくはみじん切りにする。
- 鍋に油（半量）とにんにくを入れて加熱し、香りが出てきたら玉葱、にんじん、ピーマンの順番で炒める。そこへ、漬けたホールトマト、コンソメを加えて煮込む。
- ②の鶏肉を戻し入れて、ひと煮立ちさせ、塩、こしょう、チリペッパーソースで味を調える。

※チリペッパーソースの量は味を見て、辛さを調整してください。

とうきょう
東京2020オリンピック聖火リレー

？聖火リレーってなに？

聖火とは、オリンピックが始まった国であるギリシャで太陽の光からおこした炎のことで、オリンピックのシンボルです。オリンピックの開催国を多くの人でリレーし、聖火をつなぐことが聖火リレーです。つないだ聖火は、オリンピック開会式当日に聖火台に点火され、大会が終わるまで灯し続けられます。

ふくしまし つうか
3月27日(金)に福島市を通過！

？聖火リレーは福島市のどこを走るの？

3月26日（木）に福島県からスタートする東京2020オリンピック聖火リレーは、開会式の7月24日（金）まで日本全国47都道府県を回ります。

私たちが住む福島市は**3月27日（金）の5番目**に、聖火を持って走る「聖火ランナー」が通ります。

聖火ランナーが走る福島市のルート

スタート：信夫ヶ丘競技場

ゴール：福島県庁西庁舎前県民広場

※左側の地図を見てみてね！

！「復興の火」が福島駅に展示されます！

聖火リレーが始まる前に、聖火が「復興の火」として3月20日～3月25日までの間、東日本大震災の被災地である宮城県、岩手県、福島県にそれぞれ2日間ずつ展示されます。

福島市は、**3月24日（火）福島駅東口駅前広場**に飾られます。

④令和3年2月 スイス料理（フィレ・ド・ペルシュ風白身魚のフライ、ベルナーブラッテ）

東京2020オリンピック
野球・ソフトボール競技が
福島市で開催！

**なるほど！
東京2020オリンピック・パラリンピック**

2021年に延期となった東京2020オリンピックの
福島市開催競技スケジュールはこちらです！
開催会場：福島あづま球場

2021年7月21日（水） 午前9時～午後5時
女子ソフトボールオープニングラウンド
オーストラリア VS 日本
イタリア VS アメリカ合衆国
メキシコ VS カナダ

2021年7月22日（木） 午前9時～午後5時
女子ソフトボールオープニングラウンド
アメリカ合衆国 VS カナダ
メキシコ VS 日本
イタリア VS オーストラリア

2021年7月28日（水） 正午～午後3時
男子野球オープニングラウンド（1試合）※対戦国未定。
東京2020オリンピック聖火リレー
聖火リレーは3月25日（木）に福島県の「ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ」から出発！
福島市は3月26日（金）の5番目に聖火リレーが通過します！

スイス料理を味わおう

今日は給食でスイス料理を味わいました。その中から、数種類の肉を黒込んだスイスの伝統料理「ベルナーブラッテ」の作り方を紹介しませう。給食では、食べやすいようにスープを多めにしています。

*** ベルナーブラッテ ***



<作り方>

- 鍋にオリーブオイルを熱し、にんにくを炒める。そこにソーセージ、豚肉、鶏肉を入れ、白ワインで炒り、塩、こしょうする。
- にんじん、キャベツ、たまねぎを加えて炒め、水とコンソメを加えて煮込む。
- 最後にこしょう、しょうゆを加えて味を調える。

<材料 4人分（切り方）>

ソーセージ（一口大）	40g
豚もも肉（一口大）	40g
鶏もも肉（一口大）	40g
すりおろしにんにく	小さじ1/2
白ワイン	小さじ1
オリーブオイル	小さじ1/2
塩	少々
にんじん（いちちょう切り）	80g
キャベツ（ざく切り）	120g
たまねぎ（角切り）	120g
固形コンソメ	1個
こしょう	少々
しょうゆ	小さじ2 弱
水	240ml

ぜひおうちでも作ってみてね！

東京パラリンピック
まであと200日！

福島市はスイスの選手を応援しています！

福島市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて応援しているスイスの選手との交流や、「誰にでもやさしいまち 福島」を目指して心のバリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりに取り組む自治体として、令和2年3月6日に「先導的共生社会ホストタウン」に国から認定されました。

2月5日で東京パラリンピック開催まで200日となりました！大会では日本の選手はもちろん、スイスの選手もみんな応援しましょう！

東京2020大会に向けてがんばるスイスの選手への応援動画を公開中！

福島市のホストタウン交流相手国であるスイスの選手を応援するために制作した応援メッセージ動画が、内閣官庁ホストタウンホームページで公開されています。出演者は、これまでのホストタウン交流事業にゆかりのある福島市民の皆さんです。ぜひご覧ください！

こちらのQRコードを読み取って動画を見てみよう！

先導的共生社会 ホストタウンの取り組み

スイスの先導的共生社会ホストタウンとして、福島市は「誰にでもやさしいまち 福島」を目指した取り組みを行っています。

「共生社会」ってなに？

障がいのある、ないにかかわらず、女の人も男の人もお年寄りも若い人も、すべての人がお互いの人権（私たちが幸せに生きるための権利）や尊厳（人格を尊ぶものと認めて敬うこと）を大切にし、支えあい、誰もが生き生きとした人生を送ることができるといふことを「共生社会」と言います。

福島市はどんな取り組みをしているの？

福島市では、障がいのある方やお年寄りなどいろんな人が、温泉地や市街地など実際に歩いて道路の状況などを確認する「まち歩き点検」を行っています。まち歩き点検で地域のバリアフリーがどこまで進んでいるか確認した結果が、今後の「誰にでもやさしいまち」のまちづくりにいかされています。

87

大会機運の醸成

目指す姿：オール福島で参画都市

大会関連事業の開催や広報ツールの活用による情報発信などを通して市民がオリンピック・パラリンピックに対する理解を深める機会を創出するとともに、多くの市民が参画し、参画から得られた達成感や満足感が活力となり、新たな参画意欲へと生かされるよう取り組みました。

◆チャレンジ・フォーエバー・イン福島

市内小学生を対象にアスリートを招いてスポーツ体験会を行いました。

と き／平成29年7月22日（土）

場 所／十六沼公園体育館・屋根付運動場

参 加 者／小学生120名

参加アスリート／鉄平（野球）、村中梢（ソフトボール）、西村晃一（バレーボール）、清水邦広（バレーボール）、池田信太郎（バドミントン）、小椋久美子（バドミントン）



◆1964年東京大会とポスター展

1964年東京大会当時のパンフレット、チケットなどの展示と歴代のオリンピック大会ポスターの展示を行いました。

と き／平成29年10月30日（月）～11月29日（水）

場 所／福島市役所 1階ロビー

来 場 者／1,760名

展 示 物／・オリンピック：パネル（日本選手と成績一覧）、プログラム、チケット、日本選手団トレーニングユニフォーム
・パラリンピック：パネル（日本選手と成績一覧）
・大会ポスター：第1回アテネ大会～第31回リオ大会 計28枚（3大会は中止のためポスターなし）



◆「東京五輪音頭-2020-」DVD・CDの貸し出し

1964年に流行の「東京五輪音頭」をリメイクした「東京五輪音頭-2020-」を地域の祭りやイベント等で踊っていただけるよう、DVD・CDの貸し出しを行いました。

と き／平成30年5月29日（火）～令和4年3月31日

参 加 者／14団体に貸し出し



信夫地区運動会で披露された東京五輪音頭

◆東京2020大会エンブレムタペストリーとのぼり旗の掲示

市役所 1 階ロビーに大会エンブレムタペストリーを掲出しました。

- と き／平成30年5月31日(木)から大会終了まで
 内 容／・大会エンブレムタペストリー：福島市役所 1 階ロビーに掲出
 ・のぼり旗：福島市役所および各支所、公共施設に掲出



◆2年前イベント「オリンピック・パラリンピアンと語る夢×未来」

東京2020大会開催2年前を記念し、オリンピック・パラリンピアンとの交流イベントを開催しました。

- と き／平成30年8月2日(木)
 場 所／国体記念体育館
 参 加 者／小学生180名
 参加オリンピック・パラリンピアン(敬称略)
 はぎわら みきこ 萩原美樹子(バスケットボール)、くろき ともひろ 黒木知宏(野球)、ましこ めぐみ 増子恵美(車いすバスケットボール)、
 さとう ともし 佐藤聡(車いすバスケットボール)
 内 容／・夢・未来を語る討論会
 ・ボッチャ競技体験
 ・札幌オリンピックの聖火トーチを使用したリレー
 ・カウントダウンボード除幕



夢・未来を語る討論会



ポッチャ競技体験

◆カウントダウンボードの設置

東京2020大会開会式までの残日数を表示するカウントダウンボードを市役所1階ロビーに設置しました。

と き／平成30年8月から大会終了まで
場 所／福島市役所1階ロビー



◆オリンピックデー・フェスタ in 福島市

JOC（日本オリンピック委員会）主催により、東日本大震災復興支援JOC「がんばれ！ニッポン！」プロジェクトの一環としてオリンピックとの交流イベントが開催されました。

と き／平成30年11月4日（日）
場 所／NCVふくしまアリーナ（福島市体育館・武道場）
参 加 者／小学生117名
参加オリンピック・パラリンピアン（敬称略）

山下航平（陸上）、中村真衣（競泳）、大山加奈（バレーボール）、三宮恵利子（スピードスケート）、橋典人（ウエイトリフティング）、高山樹里（ソフトボール）、大島公一（野球）



- 内 容／・ふれあい運動会
 ・アスリートによる「被災地を知る」事業



震災からの復興について果物生産者の話を聞くオリンピック選手たち



◆第20回日本ボッチャ選手権大会

日本ボッチャ選手権大会が開催され、トップ選手が熱戦を繰り広げました。

また、大会の開催に向けては、市内小中学校でボッチャ体験授業の実施やボッチャフレンドリーカップの開催など、観戦促進イベントを行いました。

と き／平成30年12月1日（土）・2日（日）

場 所／国体記念体育館



◆福島駅周辺への横断幕等の設置

福島駅に横断幕などを設置し、オリンピックムードの高揚を図りました。

と き／平成30年12月27日～令和2年3月15日

場 所／福島駅東口・西口、福島駅構内

- 内 容／・福島駅東口に横断幕を設置
 ・福島駅西口大庇柱をラッピング
 ・福島駅構内東西通路にのぼり旗を設置



◆「福島市オリンピック・パラリンピック推進事業」 市民説明会

東京2020大会の概要やこれまで市が取り組んできた内容、東京2020大会に向けたスケジュール等を説明しました。また、平成31年1月18日から募集を開始した「2020ふくしま市民応援団」について説明し、応募を呼びかけました。

と き／平成31年1月27日（日）
場 所／ザ・セレクトン福島



◆スポーツアカデミー2019 in 福島

オリンピック・パラリンピアンと東北楽天ゴールデンイーグルスアカデミーコーチを迎え、スポーツ体験を行ったほか、AED講習などを通して、いのちの大切さ、助け合い・思いやりの心を育む「いのちの教室」を行いました。

と き／平成31年2月2日（土）
場 所／NCVふくしまアリーナ（福島市体育館・武道場）
参 加 者／小学生48名
参加オリンピック・パラリンピアン等（敬称略）
飯沼誠司（ライフセービング）、堀江航（車いすバスケットボール）、岩崎恭子（水泳）、池田信太郎（バドミントン）、中濱裕之（野球）、永井克弥（野球）



内 容／・バドミントン、車いすバスケットボール、野球・ソフトボールの競技体験
・体幹などの基礎トレーニング
・いのちの教室（AED講習など）



◆500日前イベント

「オリンピックメダリスト

高橋由伸^{たかはしよしのぶ}氏によるスペシャルトーク」

東京2020大会開催500日前を記念し、アテネオリンピック野球競技銅メダリストの高橋由伸氏を迎え、トークショーを開催しました。

と き／平成31年3月16日（土）
場 所／ホテル福島グリーンパレス
参 加 者／203名



◆福島駅構内（新幹線）に大会PR用撮影パネル設置

利用者に対して東京2020大会の本市開催をPRするため、駅構内に記念撮影コーナーを設置しました。

と き／平成31年3月20日（水）から大会終了まで
場 所／福島駅構内（新幹線）
内 容／背景パネル(県営あづま球場)、大会マスコットパネル



◆路線バス・公用バスに東京2020大会仕様ラッピング

路線バスと公用バスをラッピングしました。合わせて野球・ソフトボール競技の開催をPRするため、公用車に貼りつけるマグネットシートを作成しました。

と き／令和元年5月29日（水）から大会終了まで
内 容／路線バス1台、公用バス1台、公用車100台





◆東北絆まつり2019福島

本市で開催された東北絆まつりにオリパラPRブースを出展。また、2020ふくしま市民応援団が大会開催をPRする横断幕・のぼり旗を掲げ、パレードに参加しました。

と き／令和元年6月1日（土）・2日（日）
場 所／国道4号線ほか



◆第18回アクサブレイブカップブラインドサッカー日本選手権

第18回ブラインドサッカー日本選手権の本市開催により、障がい者スポーツの普及を図るとともに、本市および東京2020大会の本市開催をPRしました。

と き／令和元年6月8日（土）～9日（日）
場 所／十六沼公園サッカー場



◆ふくしま市政出前講座「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた取り組み」

市職員等を講師として派遣し、市政への理解と関心を深めてもらい、市民との対話によるコミュニケーションで「開かれた市政」の推進を図るための「ふくしま市政出前講座」で、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた取り組み」を講演（計6回、参加者総数133名）。

内 容／①と き：令和元年7月2日
場 所：上松川健康の家
対 象：仲良しひがし会

- ②と き：令和元年9月6日
場 所：飯野学習センター
対 象：飯野学習センターナイスレディ学級
- ③と き：令和元年10月7日
場 所：飯坂学習センター
対 象：飯坂方部女性団体連絡協議会
- ④と き：令和元年10月10日
場 所：とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）
対 象：福島県文化センターボランティア
- ⑤と き：令和元年10月17日
場 所：吾妻学習センター分館
対 象：吾妻学習センター小富士学級
- ⑥と き：令和元年12月21日
場 所：(株)ニューメディア福島センター
対 象：しのぶ野第2団地自治会

◆第29回世界少年野球大会

世界14の国と地域の子もたちが、野球教室や交流試合、交流行事などに参加しました。

と き／令和元年7月30日（水）～8月7日（木）

場 所／県営あづま総合運動公園ほか

参 加 者／135名

（参加した国と地域：日本、アメリカ、アルゼンチン、オーストラリア、オランダ、ガーナ、スイス、タイ、中国、ネパール、フランス、ペルー、ラオス、台湾）

内 容／・野球教室

- ・交流試合
- ・タグラグビー交流
- ・市内での体験（土湯こけし絵付け、モモの収穫）
- ・市内見学（わらじ祭り、じょーもぴあ宮畑、こむこむ館）





◆福島駅東口周辺への街頭フラッグ設置

オリンピックムードの高揚を図るため、市と福島商工会議所、商店街が連携し、オリンピックエンブレムやマスコットを活用した街灯フラッグを製作し、福島駅東口周辺に設置しました。

と き／令和元年10月30日（水）～令和2年3月15日（日）

※令和2年3月16日（月）からはシティドレッシング（大会用装飾）を実施。

場 所／福島駅前通り、吾妻通り、パセオ通り、並木通り、文化通り

内 容／街頭フラッグ164枚



福島駅前通り



並木通り

◆**ニュースポーツ（ボッチャ）地区対抗交流記念大会**

廣瀬隆喜選手ら3人のボッチャ日本代表強化選手をゲストに迎え、ボッチャ地区対抗大会を開催しました。

と き／令和元年11月9日（土）

場 所／十六沼公園体育館

参 加 者／103名



◆**「2020応援のぼり旗」の貸出**

市独自デザインののぼり旗を製作し、町内会など市内の団体に貸し出しました。

と き／令和元年11月20日（水）から大会終了まで

貸 出 数／653本（29団体）



◆東京2020大会野球・ソフトボール競技福島市開催PR動画

野球・ソフトボール競技の本市開催をPRするため、ソフトボール女子日本代表の皆さんにご出演いただきPR動画を制作しました。

動画は、JR主要9路線の車内で放映したほか、市公式YouTubeでも配信しました。



と き／令和2年1月20日（月）～26日（日）
場 所／JR主要9路線（山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線、京葉線、埼京線、横浜線、南武線、常磐線各駅停車、中央総武線各駅停車）

◆市民向け観戦チケット販売 **中止**

より多くの市民の皆さんに観戦していただくために、組織委員会の「東京都・関係自治体（道県）・東日本大震災被災3県チケット」を活用した市独自事業として、県営あづま球場で開催の野球・ソフトボール競技チケット販売を進めていましたが、大会が1年延期となったため販売中止となりました。

申込期間／令和2年3月1日（日）～31日（火）
内 容／令和2年7月22日 ソフトボール 110枚
令和2年7月23日 ソフトボール 170枚
令和2年7月29日 野球 84枚 計364枚
申 込 数／3,042件

◆おうちで元気UP事業

新型コロナウイルス感染症の流行により、自宅で過ごす時間が多くなった方に向けて、自宅でできる簡単な運動動画を公開しました。動画の制作にあたっては、東邦銀行陸上競技部、福島ユナイテッドFCのご協力をいただきました。

と き／令和2年5月から
内 容／出演：東邦銀行陸上競技部
①なわとび仙人へチャレンジ
②親子でチャレンジ
③速く走るためのおうちトレーニング
出演：福島ユナイテッドFC
④～ユナトレ～おうちでできるボール運動
(Part 1～4)



◆ふくしまパラスポーツチャレンジ！2020

スポーツを通じた共生社会の実現を目指し、ボッチャをはじめとするパラスポーツ・ニュースポーツの普及を推進するために実施しました。

各種イベントの開催に合わせて体験会を実施したほか、市民の皆さんがパラスポーツを楽しむ姿を投稿いただくなど、チャレンジ参加者2020人を目指し、達成しました。

と き／令和2年8月1日（土）～11月3日（火・祝）

参加者／2,380名



◆^{くま けんご}隈研吾氏講演会

東京2020大会のメイン会場である国立競技場の設計に携わった建築家の隈研吾氏に、コロナ禍にあって建築物とまちづくり求められる人と自然の調和や持続可能性など、今後のまちづくりについて講演いただきました。

と き／令和2年10月22日（木）

場 所／キョウワグループ・テルサホール（福島テルサ）

参加者／328名

テーマ／「五輪からポストコロナのまちづくり」



◆街なか交流館での東京2020大会関連常設展示

と き／令和2年12月～令和4年2月

内 容／東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレータッチの展示、本県出身・ゆかりのアスリート等によるメッセージ動画の放映 など



◆ダイワハウス プロ野球OBフェスタ in 福島

東京2020大会の1カ月前を記念して、プロ野球OB会と連携し野球イベントを開催しました。また、本イベントは、令和2年4月19日に開催予定で延期となっていた「福島圏域11市町村“絆”イベント」の代替イベントとして実施しました。

と き／令和3年6月13日（日）

場 所／信夫ヶ丘球場、信夫ヶ丘競技場

参 加 者／106名、プロ野球OB16名

内 容／・野球教室、オンライン野球教室（YouTube 配信）

- ・交流試合
- ・親子ボール遊び
- ・食育講習会
- ・審判講習会
- ・福島圏域11市町村PRブース
- ・サッカー日本代表専属シェフ西芳照^{にしよしてる}さんが作った「代表カレー」のふるまい
（カレーには福島圏域11市町村の食材を使用）

※福島圏域11市町村…福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村、宮城県白石市、山形県米沢市。



◆市民向け観戦チケット販売 中止

より多くの市民の皆さんに観戦していただくために、組織委員会の「東京都・関係自治体（道県）・東日本大震災被災3県チケット」を活用した市独自事業として、県営あづま球場で開催の野球・ソフトボール競技チケット販売を進めていましたが、県営あづま球場での無観客開催が決定したため販売中止となりました。

申込期間／令和3年7月2日（金）～12日（月）

内 容／令和3年7月21日 ソフトボール 110枚

令和3年7月22日 ソフトボール 170枚

令和3年7月28日 野球 84枚 計364枚

申 込 数／3,402件

◆大会開催PRブース出展

○東北絆まつり

と き／平成30年6月2日（土）・3日（日）
場 所／盛岡市



○荒川フェスティバル

と き／令和元年5月11日（日）
場 所／荒川桜づつみ河川公園



○企業立地セミナー

と き／平成30年7月24日（火）
場 所／東京都

○第49回福島わらじまつり

と き／平成30年8月3日（金）・4日（土）
場 所／国道13号信夫通り

○Fukushima アキフェス in えきまえ2018

と き／平成30年9月16日（日）
場 所／福島駅東口駅前広場、福島駅前通り ほか

○福島フェス2018

と き／平成30年10月20日（土）
場 所／東京都

○Fukushima ハルフェス in えきまえ2019

と き／平成31年4月7日（日）
場 所／福島駅東口駅前広場、福島駅前通り ほか



○Fukushima アキフェス in えきまえ2019

と き／令和元年9月15日（日）
場 所／福島駅東口駅前広場、福島駅前通り ほか

○「食のふくしま市」&古関裕而メロディー
コンサート in まちなか広場

と き／令和元年11月17日（日）
場 所／街なか広場

○第18回福島県男女共生のつどい

と き／令和元年11月23日（土・祝）
場 所／パルセいいざか

○シティ情報ふくしま WOMAN FESTA

と き／令和元年12月1日（日）
場 所／ウィル福島 アクティおろしまち

○四季の里25周年イベント

と き／令和2年8月16日（日）
場 所／四季の里

○Fukushima アキフェス in えきまえ2020

と き／令和2年10月18日（日）
場 所／福島駅東口駅前広場、福島駅前通り ほか

○福島駅前軽トラ市

と き／令和2年10月31日（土）
場 所／福島駅前通り

○Fukushima ハルフェス in えきまえ2021

と き／令和3年4月3日（土）
場 所／福島駅前通り ほか

◆その他関連取り組み

○第40回ふくしま花火大会

東京2020大会応援花火を打ち上げました。

- と き／平成30年7月28日（土）
場 所／信夫ヶ丘緑地公園
内 容／特別プログラム「2020年野球・ソフトボール競技開催カウントダウン花火」

○オリンピックメダリストによる水泳教室・講演会
（寺川綾氏）
ロンドンオリンピック競泳銅メダリストの寺川綾氏を講師に招き、水泳教室と講演会を開催しました。

- 主 催／福島市振興公社
と き／平成30年10月14日（日）
場 所／ヘルシーランド福島
参 加 者／水泳教室：小学生49名、講演会：102名



○福島市新年市民交歓会

ゲストとしてアテネオリンピック・北京オリンピック野球日本代表投手コーチのおおの 豊氏に参加いただきました。また、第2部として大野豊氏によるオリンピックトークショーを開催しました。

- と き／平成31年1月4日（金）
場 所／ホテル福島グリーンパレス
参 加 者／881名（トークショー参加者：129名）

○水素で走る「燃料電池バス」体験試乗会

旧国立競技場炬火台展示イベントに合わせ、東京2020大会アクション&レガシープランに掲げる水素社会の実現に向けた燃料電池バスおよび燃料電池自動車の試乗会や水素エネルギーに関する展示を行いました。

- 主 催／福島市水素社会実現推進協議会
と き／令和元年7月24日（水）
場 所／県営あづま総合運動公園大駐車場
参 加 者／約300名



○第41回ふくしま花火大会

東京2020大会応援花火を打ち上げました。

- と き／令和元年7月27日（土）
場 所／信夫ヶ丘緑地公園
内 容／特別プログラム「ふくしま花火マーチ～2020年へのエール～」

○第18回福島県男女共生のつどい・福島市男女共生セミナー2019

オリンピックレスリング競技で4大会連続メダル獲得、アテネ・北京・ロンドン大会では3連覇を達成した吉田沙保里^{よしだ さおり}氏によるトークショーを開催しました。

と き／令和元年11月23日（土）

場 所／パルセいいざか

参 加 者／1,650名

テ ー マ／「迷わない力～夢を実現するために私が続けていること～」

○オリンピックメダリストによる水泳教室

ロンドンオリンピック競泳銅メダリストの寺川綾^{てらがわ あや}氏を講師に招き、水泳教室を開催しました。

主 催／福島市振興公社

と き／令和元年11月24日（日）

場 所／ヘルシーランド福島

参 加 者／小学生100名

○福島市新年市民交歓会

ゲストとしてアテネオリンピック・北京オリンピック野球日本代表キャプテンの宮本慎也^{みやもと しんや}氏に参加いただきました。

と き／令和2年1月6日（月）

場 所／ホテル福島グリーンパレス

参 加 者／917名

◆東京2020大会福島市開催PR用グッズ

野球・ソフトボール競技の本市開催のPRグッズを作成し、イベント等で配布しました。



ティッシュ・ウエットティッシュ・ボールペン



うちわ（裏面はインバウンドを意識した指さしボード）